

大学番号：私081

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

届出

大東文化大学 社会学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大東文化学園  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学 務 部

職名・氏名 ガクムアチョウ アオキ キヨミ  
学務部長・青木 清美

電話番号 03-5399-7333

（夜間） 03-3935-1110

F A X 03-5399-7334

e-mail gakumu@jm.daito.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 社会学部

<社会学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	28
6. 附帯事項等に対する履行状況等	50
7. その他全般的事項	51

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大東文化学園

## (2) 大学名

大東文化大学

## (3) 大学の位置

(1・2年次) 〒355-8501  
埼玉県東松山市岩殿560

(3・4年次) 〒175-8571  
東京都板橋区高島平1-9-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オオハシ ヒドイツ 大橋英五 (平成27年6月30日)	ナカゴメ ヒデキ 中込秀樹 (平成30年6月30日)	任期満了による改選(元)
学長	カドワキ ヒロフミ 門脇廣文 (平成29年4月1日)		
学部長	ババ ヤスオ 馬場靖雄 (平成30年4月1日)		
学科長等	ウエノ カズヨシ 植野一芳 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
社会学部 社会学科 学士(社会学)	社会学・社会 福祉学関係	4年	200人	— 年次 — 人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	200人 (—) [—]	0人 (—) [—]	200人 (—) [—]	0人 (—) [—]	0.99倍	—	
志願者数	2212 (0) [19]	— (—) [—]	1875 (0) [36]	— (—) [—]			
受験者数	2157 (0) [15]	— (—) [—]	1800 (0) [32]	— (—) [—]			
合格者数	440 (0) [5]	— (—) [—]	494 (0) [11]	— (—) [—]			
B 入学者数	204 (0) [4]	— (—) [—]	193 (0) [9]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	1.02		0.97				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		令和元年度		備考
	平成30年度		令和元年度		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	204 [ 4] 0	— [—] —	194 [9] 0	— [—] —	
2年次	/		200 [3] 0	— [—] —	
3年次			/		
4年次	/				
計			204 [ 4] 0		394 [12] 0

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数	
				うち留学生数	
平成30年度	204 人	2 人	平成30年度	2 人 0 人	他の教育機関への転学(1名) 就職(1名)
令和元年度	394 人	0 人	平成30年度	1 人 1 人	他の教育機関への転学(1名)
			令和元年度	0 人 0 人	
合 計		2 人		2 人 0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{204} = \boxed{0.98} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{394} = \boxed{0.25} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会学部 社会学科>

(1) ① 授業科目表

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
1. 基本科目 全学共通科目	A系 人間と文化(人文系)	哲学A 1・2前・後	2		1						兼1
	哲学B 1・2前・後	2		1						兼1	
	文学A 1・2前・後	2		1						兼2	
	文学B 1・2前・後	2		1						兼2	
	論理学A 1・2前・後	2								兼1	
	論理学B 1・2前・後	2								兼1	
	倫理学A 1・2前・後	2		1						兼1	
	倫理学B 1・2前・後	2		1						兼1	
	宗教学A 1・2前・後	2								兼1	
	宗教学B 1・2前・後	2								兼1	
	歴史学A 1・2前・後	2								兼4	
	歴史学B 1・2前・後	2								兼4	
	考古学A 1・2前・後	2								兼1	
	考古学B 1・2前・後	2								兼1	
	文化史A 1・2前・後	2								兼1	
	文化史B 1・2前・後	2								兼1	
	芸術学A 1・2前・後	2		1						兼3	
	芸術学B 1・2前・後	2		1						兼3	
	地理学A 1・2前・後	2								兼2	
	地理学B 1・2前・後	2								兼2	
言語学A 1・2前・後	2								兼2		
言語学B 1・2前・後	2								兼2		
B系 社会と生活(社会系)	法学A 1・2前・後	2								兼2	
	法学B 1・2前・後	2								兼2	
	社会学A 1・2前・後	2				1				兼1	
	社会学B 1・2前・後	2				1				兼1	
	政治学A 1・2前・後	2								兼2	
	政治学B 1・2前・後	2								兼2	
	経済学A 1・2前・後	2								兼1	
	経済学B 1・2前・後	2								兼1	
	心理学A 1・2前・後	2				1				兼2	
	心理学B 1・2前・後	2				1				兼2	
	教育学A 1・2前・後	2				1				兼1	
	教育学B 1・2前・後	2				1				兼1	
	民俗学A 1・2前・後	2								兼1	
民俗学B 1・2前・後	2								兼1		
文化人類学A 1・2前・後	2			1					兼1		
文化人類学B 1・2前・後	2			1					兼1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
1. 基本科目 全学共通科目	A系 人間と文化(人文系)	哲学A 1・2前・後	2			1					兼1
	哲学B 1・2前・後	2				1					兼1
	文学A 1・2前・後	2				0					兼2
	文学B 1・2前・後	2				0					兼2
	論理学A 1・2前・後	2									兼1
	論理学B 1・2前・後	2									兼1
	倫理学A 1・2前・後	2				1					兼1
	倫理学B 1・2前・後	2				1					兼1
	宗教学A 1・2前・後	2									兼1
	宗教学B 1・2前・後	2									兼1
	歴史学A 1・2前・後	2									兼4
	歴史学B 1・2前・後	2									兼4
	考古学A 1・2前・後	2									兼1
	考古学B 1・2前・後	2									兼1
	文化史A 1・2前・後	2									兼1
	文化史B 1・2前・後	2									兼1
	芸術学A 1・2前・後	2				0		1			兼3
	芸術学B 1・2前・後	2				0		1			兼3
	地理学A 1・2前・後	2									兼2
	地理学B 1・2前・後	2									兼2
言語学A 1・2前・後	2									兼2	
言語学B 1・2前・後	2									兼2	
B系 社会と生活(社会系)	法学A 1・2前・後	2									兼2
	法学B 1・2前・後	2									兼2
	社会学A 1・2前・後	2						1			兼1
	社会学B 1・2前・後	2						1			兼1
	政治学A 1・2前・後	2									兼2
	政治学B 1・2前・後	2									兼2
	経済学A 1・2前・後	2									兼1
	経済学B 1・2前・後	2									兼1
	心理学A 1・2前・後	2							1		兼1
	心理学B 1・2前・後	2							1		兼1
	教育学A 1・2前・後	2							1		兼1
	教育学B 1・2前・後	2							1		兼1
	民俗学A 1・2前・後	2									兼1
民俗学B 1・2前・後	2									兼1	
文化人類学A 1・2前・後	2				0					兼1	
文化人類学B 1・2前・後	2				0					兼1	

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
1. 基本科目 （自然科学系）	数学A	1-2 前・後	2								兼1	
	数学B	1-2 前・後	2								兼1	
	地学A	1-2 前・後	2								兼1	
	地学B	1-2 前・後	2								兼1	
	生物学A	1-2 前・後	2								兼2	
	生物学B	1-2 前・後	2								兼2	
	生態学A	1-2 前・後	2								兼1	
	生態学B	1-2 前・後	2								兼1	
	現代科学A	1-2 前・後	2								兼3	
	現代科学B	1-2 前・後	2								兼3	
	情報科学A	1-2 前・後	2								兼2	
	情報科学B	1-2 前・後	2								兼2	
	自然科学A	1-2 前・後	2								兼1	
	自然科学B	1-2 前・後	2								兼1	
	D系 （保健体育系）	総合体育A	1-2前	1								兼5
		総合体育B	1-2後	1								兼5
		健康スポーツ科学A	1-2 前・後	2								兼4
		健康スポーツ科学B	1-2 前・後	2								兼4
		体育実技A	2前	1								兼3
体育実技B		2後	1								兼3	
野外実習A		1-2 前・後	1								兼1	
野外実習B	1-2 前・後	1								兼1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
1. 基本科目 （自然科学系）	数学A	1-2 前・後	2								兼1	
	数学B	1-2 前・後	2								兼1	
	地学A	1-2 前・後	2								兼1	
	地学B	1-2 前・後	2								兼1	
	生物学A	1-2 前・後	2								兼2	
	生物学B	1-2 前・後	2								兼2	
	生態学A	1-2 前・後	2								兼1	
	生態学B	1-2 前・後	2								兼1	
	現代科学A	1-2 前・後	2								兼3	
	現代科学B	1-2 前・後	2								兼3	
	情報科学A	1-2 前・後	2								兼2	
	情報科学B	1-2 前・後	2								兼2	
	自然科学A	1-2 前・後	2								兼1	
	自然科学B	1-2 前・後	2								兼1	
	D系 （保健体育系）	総合体育A	1-2前	1								兼5
		総合体育B	1-2後	1								兼5
		健康スポーツ科学A	1-2 前・後	2								兼4
		健康スポーツ科学B	1-2 前・後	2								兼4
		体育実技A	2前	1								兼3
体育実技B		2後	1								兼3	
野外実習A		1-2 前・後	1								兼1	
野外実習B	1-2 前・後	1								兼1		



【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
2 課題(テーマ)科目 全学共通科目	第1群 地域・国家・民族の考察A	1・2 前・後	2								兼2
	地域・国家・民族の考察B	1・2 前・後	2								兼2
	第2群 女性・子ども・老人への視点A	1・2 前・後	2								兼2
	女性・子ども・老人への視点B	1・2 前・後	2								兼2
	第3群 人権・民主主義・平和を考えるA	1・2 前・後	2								兼1
	人権・民主主義・平和を考えるB	1・2 前・後	2								兼1
	第4群 現代社会の諸問題A	1・2 前・後	2								兼2
	現代社会の諸問題B	1・2 前・後	2								兼2
	第5群 異文化・世界にふれるA	1・2 前・後	2		2						兼3
	異文化・世界にふれるB	1・2 前・後	2		2						兼3
	第6群 自己・人間をみつめるA	1・2 前・後	2		1						兼3
	自己・人間をみつめるB	1・2 前・後	2		1						兼3
	第7群 キャリアデザインA	1・2 前・後	2								兼2
	キャリアデザインB	1・2 前・後	2								兼2
	第8群 全学共通特殊講義A	1・2 前・後	2								兼2
	全学共通特殊講義B	1・2 前・後	2								兼2
	小計(76科目)	-	2	144	0	4	0	2	0	0	兼54

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
2 課題(テーマ)科目 全学共通科目	第1群 地域・国家・民族の考察A	1・2 前・後	2								兼2
	地域・国家・民族の考察B	1・2 前・後	2								兼2
	第2群 女性・子ども・老人への視点A	1・2 前・後	2								兼2
	女性・子ども・老人への視点B	1・2 前・後	2								兼2
	第3群 人権・民主主義・平和を考えるA	1・2 前・後	2								兼1
	人権・民主主義・平和を考えるB	1・2 前・後	2								兼1
	第4群 現代社会の諸問題A	1・2 前・後	2				1				兼1
	現代社会の諸問題B	1・2 前・後	2				1				兼1
	第5群 異文化・世界にふれるA	1・2 前・後	2		0	1					兼3
	異文化・世界にふれるB	1・2 前・後	2		0	1					兼3
	第6群 自己・人間をみつめるA	1・2 前・後	2		0						兼4
	自己・人間をみつめるB	1・2 前・後	2		0						兼4
	第7群 キャリアデザインA	1・2 前・後	2								兼2
	キャリアデザインB	1・2 前・後	2								兼2
	第8群 全学共通特殊講義A	1・2 前・後	2								兼2
	全学共通特殊講義B	1・2 前・後	2								兼2
発展科目	日本史概論A	1・2 前・後	2								兼1
	日本史概論B	1・2 前・後	2								兼1
	西洋史概論	1・2 前・後	2								兼1
	東洋史概論	1・2 前・後	2								兼1
	日本の人文地理	1・2 前・後	2								兼1
	世界の人文地理	1・2 前・後	2								兼1
	日本の自然地理	1・2 前・後	2								兼1
	世界の自然地理	1・2 前・後	2								兼1
	日本地誌概論	1・2 前・後	2								兼1
	世界地誌概論	1・2 前・後	2								兼1
	日本国憲法	1・2 前・後	2								兼1
	法学概論	1・2 前・後	2								兼1
	情報処理	1・2 前・後	2								兼1
	哲学概論A	1・2 前・後	2								兼1
	哲学概論B	1・2 前・後	2								兼1
	倫理学概論A	1・2 前・後	2								兼1
倫理学概論B	1・2 前・後	2								兼1	
社会病理	1・2 前・後	2								兼1	
	小計(94科目)	-	2	180	0	1	1	3	0	0	兼58

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	必修科目	フレッシュマンセミナーA	1前	2			6	3	4			兼5
		フレッシュマンセミナーB	1後	2			6	3	4			
		時事英語1	1前	1			1					
		時事英語2	1後	1			1					
		実用コミュニケーション英語1	1前	1			1					
		実用コミュニケーション英語2	1後	1			1					
	選択必修科目	時事英語3	2前	1			1					兼5
		英語で読む現代社会	2後	1			1					
		実用コミュニケーション英語3	2前	1			1					
		実用コミュニケーション英語4	2後	1			1					
	海外英語研修	2通	4			1						
	未修外国語科目 選択科目	ドイツ語初級1A	1・2前	1								兼1
		ドイツ語初級1B	1・2後	1								
		ドイツ語初級2A	1・2前	1								
		ドイツ語初級2B	1・2後	1								
		フランス語初級1A	1・2前	1								
		フランス語初級1B	1・2後	1								
		フランス語初級2A	1・2前	1								
		フランス語初級2B	1・2後	1								
		中国語初級1A	1・2前	1								
中国語初級1B		1・2後	1									
中国語初級2A		1・2前	1									
中国語初級2B		1・2後	1									
コリア語基礎1A		1・2前	1									
コリア語基礎1B		1・2後	1									
コリア語基礎2A	1・2前	1										
コリア語基礎2B	1・2後	1										
小計(27科目)			-	8	24	0	8	3	4	0	0	兼14
必修科目	社会学入門A	1前	2			1					兼3	
	社会学入門B	1後	2			1						
	社会学の諸相	1前	2			1	1	1				
	社会統計入門	1後	2			1						
	情報処理基礎 I	1前	2					1				
	情報処理基礎 II	1後	2					1				
	社会調査 I	1前	2				1					
	社会調査 II	1後	2				1					
	社会学演習 I	2通	4			5	5	4				
	社会学演習 II	3通	4			5	5	3				
卒業研究	4通	4			5	5	3					
選択必修科目①	歴史社会学	1前	2			1					兼1	
	家族社会学	1後	2			1						
	教育社会学	1前	2					1				
	格差社会論	1後	2					1				
	社会学理論A	2前	2			1						
	社会学理論B	2後	2			1						
	社会学史	2前	2					1				
	組織社会学	2後	2									
	情報と統計基礎実習	2前・後	2									
	量的調査法	2後	2					1				
	社会調査法	2前	2									
	成熟社会A	3前	2			1						
	成熟社会B	3後	2			1						
	社会調査実習	3通	4			1	2	1				
	Introduction to Sociology(外書講読)	3前	2			1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	必修科目	フレッシュマンセミナーA	1前	2			6	2	6			兼5
		フレッシュマンセミナーB	1後	2			6	2	6			
		時事英語1	1前	1			1					
		時事英語2	1後	1			1					
		実用コミュニケーション英語1	1前	1			1					
		実用コミュニケーション英語2	1後	1			1					
	選択必修科目	時事英語3	2前	1			1					兼5
		英語で読む現代社会	2後	1			1					
		実用コミュニケーション英語3	2前	1			1					
		実用コミュニケーション英語4	2後	1			1					
	海外英語研修	2通	4			1						
	未修外国語科目 選択科目	ドイツ語初級1A	1・2前	1								兼1
		ドイツ語初級1B	1・2後	1								
		ドイツ語初級2A	1・2前	1								
		ドイツ語初級2B	1・2後	1								
		フランス語初級1A	1・2前	1								
		フランス語初級1B	1・2後	1								
		フランス語初級2A	1・2前	1								
		フランス語初級2B	1・2後	1								
		中国語初級1A	1・2前	1								
中国語初級1B		1・2後	1									
中国語初級2A		1・2前	1									
中国語初級2B		1・2後	1									
コリア語基礎1A		1・2前	1									
コリア語基礎1B		1・2後	1									
コリア語基礎2A	1・2前	1										
コリア語基礎2B	1・2後	1										
小計(27科目)			-	8	24	0	8	2	6	0	0	兼16
必修科目	社会学入門A	1前	2			1					兼3	
	社会学入門B	1後	2			1						
	社会学の諸相	1前	2			1	1	1				
	社会統計入門	1後	2			1						
	情報処理基礎 I	1前	2					1				
	情報処理基礎 II	1後	2					1				
	社会調査 I	1前	2				1					
	社会調査 II	1後	2				1					
	社会学演習 I	2通	4			5	4	5				
	社会学演習 II	3通	4			5	4	4				
卒業研究	4通	4			4	4	4					
選択必修科目①	歴史社会学	1前	2			1					兼1	
	家族社会学	1後	2			1						
	教育社会学	1前	2					1				
	格差社会論	1後	2					1				
	社会学理論A	2前	2			1						
	社会学理論B	2後	2			1						
	社会学史	2前	2					1				
	組織社会学	2後	2									
	情報と統計基礎実習	2前・後	2									
	量的調査法	2後	2					1				
	社会調査法	2前	2									
	成熟社会A	3前	2			1						
	成熟社会B	3後	2			1						
	社会調査実習	3通	4			1	1	1				
	Introduction to Sociology(外書講読)	3前	2			1						

【届出時】

Table with 7 columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択), 専任教員等の配置 (教, 准教授, 講師, 助教授, 助手), 兼任・兼担. It lists various subjects like International Sociology, Cultural Sociology, and Urban Sociology with their respective schedules and staff assignments.

【令和元年度】

Table with 7 columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択), 専任教員等の配置 (教, 准教授, 講師, 助教授, 助手), 兼任・兼担. This table shows the staff assignments for the same subjects as the previous table for the Reiwa 1st year, with some adjustments in staff numbers.

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
多文化と共生コース関連科目	国際関係論	1・2前	2								兼1
	サブカルチャー論	1・2後	2			1					兼1
	地域研究(アジア)	2前	2								兼1
	地域研究(中東)	2後	2								兼1
	教育心理学A	2前	2								兼1
	教育心理学B	2後	2								兼1
	環境経営	2前	2			1					兼1
	社会心理学A	3・4前	2								兼1
	社会心理学B	3・4後	2								兼1
	社会階層論	3・4前	2			1					兼1
	地域研究(北米)	3・4後	2			1					兼1
	地域研究(ヨーロッパ)	3・4後	2			1					兼1
セクシュアリティ	3・4前	2								兼1	
エスニシティ	3・4後	2			1					兼1	
都市と地域コース関連科目	民法A	1・2前	2								兼1
	民法B	1・2後	2								兼1
	産業心理学A	2前	2								兼1
	産業心理学B	2後	2								兼1
	コミュニティ心理学	2後	2				1				兼1
	都市・地域政策論	2後	2			1					兼1
	NPO/NGOの社会学	3・4前	2								兼1
	地方財政論	3・4前	2				1				兼1
	金融論	3・4前	2								兼1
	産業社会学A	3・4前	2			1					兼1
	産業社会学B	3・4後	2			1					兼1
	消費者政策	3・4前	2								兼1
観光社会学	3・4後	2								兼1	
行政法	3・4前	2								兼1	
子ども福祉論	3・4前	2								兼1	
障がい福祉論	3・4後	2								兼1	
メディアと情報コース関連科目	心理学基礎実験A	1・2前	2				1				兼1
	心理学基礎実験B	1・2後	2				1				兼1
	マスコミ史	2前	2		1						兼1
	臨床心理学	2前	2				1				兼1
	心理統計学	2後	2								兼1
	情報ネットワーク	2前	2								兼1
	広告論	3・4後	2		1						兼1
	ビッグデータ論	3・4前	2								兼1
	コンテンツ産業論	3・4前	2				1				兼1
	プログラミング基礎	3・4前	2			1					兼1
	プログラミング応用	3・4後	2			1					兼1
	ネットワークコンピューティング	3・4前	2			1					兼1
知的財産法	3・4後	2								兼1	
実験社会心理学A	3・4前	2				1				兼1	
実験社会心理学B	3・4後	2				1				兼1	
情報処理実習	3・4前	2								兼1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
多文化と共生コース関連科目	国際関係論	1・2後	2								兼1
	サブカルチャー論	1・2前	2			0		1			兼0
	地域研究(アジア)	2後	2				0				兼1
	地域研究(中東)	2後	2								兼1
	教育心理学A	2前	2						1		兼0
	教育心理学B	2後	2						1		兼0
	環境経営	2前	2			1					兼1
	社会心理学A	3・4前	2								兼1
	社会心理学B	3・4後	2								兼1
	社会階層論	3・4前	2			1					兼1
	地域研究(北米)	3・4後	2			0					兼1
	地域研究(ヨーロッパ)	3・4後	2			1					兼1
セクシュアリティ	3・4前	2								兼1	
エスニシティ	3・4後	2			1					兼1	
都市と地域コース関連科目	民法A	1・2前	2								兼1
	民法B	1・2後	2								兼1
	産業心理学A	2前	2								兼1
	産業心理学B	2後	2								兼1
	コミュニティ心理学	2後	2					1			兼1
	都市・地域政策論	2後	2			0					兼1
	NPO/NGOの社会学	3・4前	2								兼1
	地方財政論	3・4前	2					1			兼1
	金融論	3・4前	2								兼1
	産業社会学A	3・4前	2			1					兼1
	産業社会学B	3・4後	2			1					兼1
	消費者政策	3・4前	2								兼1
観光社会学	3・4後	2								兼1	
行政法	3・4前	2								兼1	
子ども福祉論	3・4前	2								兼1	
障がい福祉論	3・4後	2								兼1	
メディアと情報コース関連科目	心理学基礎実験A	1・2前	2					1			兼1
	心理学基礎実験B	1・2後	2					1			兼1
	マスコミ史	2前	2		1						兼1
	臨床心理学	2前	2					1			兼1
	心理統計学	2後	2								兼1
	情報ネットワーク	2前	2								兼1
	広告論	3・4後	2		1						兼1
	ビッグデータ論	3・4前	2								兼1
	コンテンツ産業論	3・4前	2					1			兼1
	プログラミング基礎	3・4前	2			1					兼1
	プログラミング応用	3・4後	2			1					兼1
	ネットワークコンピューティング	3・4前	2			1					兼1
知的財産法	3・4後	2								兼1	
実験社会心理学A	3・4前	2					1			兼1	
実験社会心理学B	3・4後	2					1			兼1	
情報処理実習	3・4前	2								兼1	

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	特殊講義科目	社会学特殊講義Ⅰ	3・4前	2		1						
		社会学特殊講義Ⅱ	3・4前	2		1						
	キャリア支援	キャリア支援特殊講義Ⅰ	1・2前	2		1						兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅱ	1・2後	2		1						兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅲ	1・2前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅳ	1・2後	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅴ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅵ	3・4後	2			1					兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅶ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅷ	3・4後	2			1					兼1
	インターンシップ	3前	2									兼1
	研修科目	社会活動Ⅰ	1通	2		1						
		社会活動Ⅱ	1通	2		1						
		社会活動Ⅲ	1通	2				1				
		海外研修A	2前	2		1						
		海外研修B	2前	2		1						
国内研修A		2前	2		1							
国内研修B	2前	2				1						
小計(142科目)	-	28	264	0	10	5	5	0	0		兼36	
外国人留学生に関する日本語科目等	活動コース	フィールドワークA	1・2前	2								兼1
		フィールドワークB	1・2後	2								兼1
	内容コース	日本の政治・経済・社会A	1・2前	2								兼1
		日本の政治・経済・社会B	1・2後	2								兼1
		日本の文化・芸術A	1・2前	2								兼1
		日本の文化・芸術B	1・2後	2								兼1
		日本の歴史A	1・2前	2								兼1
		日本の歴史B	1・2後	2								兼1
		現代日本の諸相A	1・2前	2								兼1
		現代日本の諸相B	1・2後	2								兼1
	言語コース(発展)	理解とコミュニケーションA	1・2前	1								兼1
		理解とコミュニケーションB	1・2後	1								兼1
		資料・文献読解A	1・2前	1								兼1
		資料・文献読解B	1・2後	1								兼1
		日本語文章表現A	1・2前	1								兼1
		日本語文章表現B	1・2後	1								兼1
小計(16科目)	-	0	26	0	0	0	0	0	0		兼7	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	特殊講義科目	社会学特殊講義Ⅰ	3・4前	2		1						
		社会学特殊講義Ⅱ	3・4前	2		0			1			
	キャリア支援	キャリア支援特殊講義Ⅰ	1・2前	2		1						
		キャリア支援特殊講義Ⅱ	1・2後	2		1						
		キャリア支援特殊講義Ⅲ	1・2前	2							1	兼0
		キャリア支援特殊講義Ⅳ	1・2後	2							1	兼0
		キャリア支援特殊講義Ⅴ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅵ	3・4後	2				1				兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅶ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅷ	3・4後	2			1					兼1
	インターンシップ	3前	2							1		兼0
	研修科目	社会活動Ⅰ	1通	2		1						
		社会活動Ⅱ	1通	2		1						
		社会活動Ⅲ	1通	2					1			
		海外研修A	2後	2		1						
		海外研修B	2後	2		1						
国内研修A		2前	2		1							
国内研修B	2前	2					1					
小計(142科目)	-	28	264	0	8	4	7	1	0		兼35	
外国人留学生に関する日本語科目等	活動コース	フィールドワークA	1・2前	2								兼1
		フィールドワークB	1・2後	2								兼1
	内容コース	日本の政治・経済・社会A	1・2前	2								兼1
		日本の政治・経済・社会B	1・2後	2								兼1
		日本の文化・芸術A	1・2前	2								兼1
		日本の文化・芸術B	1・2後	2								兼1
		日本の歴史A	1・2前	2								兼1
		日本の歴史B	1・2後	2								兼1
		現代日本の諸相A	1・2前	2								兼1
		現代日本の諸相B	1・2後	2								兼1
	言語コース(発展)	理解とコミュニケーションA	1・2前	1								兼2
		理解とコミュニケーションB	1・2後	1								兼2
		資料・文献読解A	1・2前	1								兼3
		資料・文献読解B	1・2後	1								兼3
		日本語文章表現A	1・2前	1								兼2
		日本語文章表現B	1・2後	1								兼2
小計(16科目)	-	0	26	0	0	0	0	0	0		兼7	

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
合計(261科目)		-	38	458	0	10	5	5	0	0	兼107
卒業要件及び履修方法											
<p>全学共通科目から6単位(総合体育AB2単位必修とB系及びテーマ科目1~5群の中から4単位選択必修)</p> <p>基礎教育科目の必修科目8単位、選択必修科目4単位、専門教育科目の必修科目から28単位、選択必修科目から48単位、さらに科目区分問わず、30単位の合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>専門教育科目の選択必修科目48単位分の履修方法は、選択必修科目①から8単位、2年次に3コースのうちいずれかひとつを選択し(選択必修科目②)、16単位を必修及び選択必修とし、4単位を選択したコース以外のコース科目を選択必修、20単位分は関連科目(選択必修科目③)から選んで履修すること要件とする。(履修科目の登録上限は年間1~4年次44単位まで)</p>											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
スポーツ科学系	スポーツ科学入門	1・2前	2								兼1
	スポーツの指導	1・2後	2								兼1
	スポーツ選手の医学	1・2後	2								兼1
	スポーツ選手の生理	1・2後	2								兼1
	スポーツ選手の心理	1・2後	2								兼1
	スポーツマネジメント論	1・2前	2								兼1
	トレーニング理論と実践	1・2後	2								兼1
	競技スポーツ演習Ⅰ	1・2前	2								兼1
	競技スポーツ演習Ⅱ	1・2後	2								兼1
	競技スポーツ演習Ⅲ	2前	2								兼1
競技スポーツ演習Ⅳ	2後	2								兼1	
副専攻科目 留学(英語)	Basic Skills		1								兼1
	Reading and Writing I		1								兼1
	Reading and Writing II		1								兼1
	Communication and Discussion I		1								兼1
	Communication and Discussion II		1								兼1
	Academic Writing		1								兼1
	Discussion and Presentation		1								兼1
	グローバルスタディ1		2								兼1
	グローバルスタディ2		2								兼1
	グローバルスタディ3		2								兼1
グローバルスタディ4		2								兼1	
グローバルスタディ5		2								兼1	
グローバルスタディ6		2								兼1	
グローバルスタディ7		2								兼1	
グローバルスタディ8		2								兼1	
小計(26科目)		-	0	45	0	0	0	0	0	0	兼7
合計(305科目)		-	38	539	0	9	5	7	1	0	兼115
卒業要件及び履修方法											
<p>全学共通科目から6単位(総合体育AB2単位必修とB系及びテーマ科目1~5群の中から4単位選択必修)</p> <p>基礎教育科目の必修科目8単位、選択必修科目4単位、専門教育科目の必修科目から28単位、選択必修科目から48単位、さらに科目区分問わず、30単位の合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>専門教育科目の選択必修科目48単位分の履修方法は、選択必修科目①から8単位、2年次に3コースのうちいずれかひとつを選択し(選択必修科目②)、16単位を必修及び選択必修とし、4単位を選択したコース以外のコース科目を選択必修、20単位分は関連科目(選択必修科目③)から選んで履修すること要件とする。(履修科目の登録上限は年間1~4年次44単位まで)</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自修	教授	准教授	講師	助教		助手	
1. 基本科目 全学共通科目	A系 人間と文化（人文系）	哲学A 1・2 前・後	2			0					兼2	
	哲学B 1・2 前・後	2			0						兼2	
	文学A 1・2 前・後	2			0						兼2	
	文学B 1・2 前・後	2			0						兼2	
	論理学A 1・2 前・後	2									兼1	
	論理学B 1・2 前・後	2									兼1	
	倫理学A 1・2 前・後	2			1						兼1	
	倫理学B 1・2 前・後	2			1						兼1	
	宗教学A 1・2 前・後	2									兼1	
	宗教学B 1・2 前・後	2									兼1	
	歴史学A 1・2 前・後	2									兼4	
	歴史学B 1・2 前・後	2									兼4	
	考古学A 1・2 前・後	2									兼1	
	考古学B 1・2 前・後	2									兼1	
	文化史A 1・2 前・後	2									兼1	
	文化史B 1・2 前・後	2									兼1	
	芸術学A 1・2 前・後	2				0					兼3	
	芸術学B 1・2 前・後	2				0					兼3	
	地理学A 1・2 前・後	2									兼2	
	地理学B 1・2 前・後	2									兼2	
	言語学A 1・2 前・後	2									兼2	
	言語学B 1・2 前・後	2									兼2	
	B系 社会と生活（社会系）	法学A 1・2 前・後	2									兼2
	法学B 1・2 前・後	2										兼2
	社会学A 1・2 前・後	2						1				
	社会学B 1・2 前・後	2						1				
政治学A 1・2 前・後	2										兼2	
政治学B 1・2 前・後	2										兼2	
経済学A 1・2 前・後	2										兼1	
経済学B 1・2 前・後	2										兼1	
心理学A 1・2 前・後	2						1				兼2	
心理学B 1・2 前・後	2						1				兼2	
教育学A 1・2 前・後	2						1				兼1	
教育学B 1・2 前・後	2						1				兼1	
民俗学A 1・2 前・後	2										兼1	
民俗学B 1・2 前・後	2										兼1	
文化人類学A 1・2 前・後	2				1							
文化人類学B 1・2 前・後	2				1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
1. 基本科目 1. 1 1 1. 1 2 1. 1 3 1. 1 4 1. 1 5 1. 1 6 1. 1 7 1. 1 8 1. 1 9 1. 1 10 1. 1 11 1. 1 12 1. 1 13 1. 1 14 1. 1 15 1. 1 16 1. 1 17 1. 1 18 1. 1 19 1. 1 20	C系 自然と環境（自然系）	数学A	1-2前・後	2							兼1
		数学B	1-2前・後	2							兼1
		地学A	1-2前・後	2							兼1
		地学B	1-2前・後	2							兼1
		生物学A	1-2前・後	2							兼2
		生物学B	1-2前・後	2							兼2
		生態学A	1-2前・後	2							兼1
		生態学B	1-2前・後	2							兼1
		現代科学A	1-2前・後	2							兼3
		現代科学B	1-2前・後	2							兼3
		情報科学A	1-2前・後	2							兼2
		情報科学B	1-2前・後	2							兼2
		自然科学A	1-2前・後	2							兼1
		自然科学B	1-2前・後	2							兼1
	D系 （保健体育系）	総合体育A	1-2前	1							兼5
		総合体育B	1-2後	1							兼5
		健康スポーツ科学A	1-2前・後	2							兼4
		健康スポーツ科学B	1-2前・後	2							兼4
		体育実技A	2前	1							兼3
		体育実技B	2後	1							兼3
	野外実習A	1-2前・後	1							兼1	
	野外実習B	1-2前・後	1							兼1	



【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
2 課 題 ( テ ー マ ) 科 目  全 学 共 通 科 目	第1群 地域・国家・ 民族の考察A	1・2 前・後		2								兼2
	地域・国家・ 民族の考察B	1・2 前・後		2								兼2
	第2群 女性・子ども・ 老人への視点A	1・2 前・後		2								兼2
	女性・子ども・ 老人への視点B	1・2 前・後		2								兼2
	第3群 人権・民主主義・ 平和を考えるA	1・2 前・後		2								兼1
	人権・民主主義・ 平和を考えるB	1・2 前・後		2								兼1
	第4群 現代社会の諸問題A	1・2 前・後		2								兼2
	現代社会の諸問題B	1・2 前・後		2								兼2
	第5群 異文化・世界にふれるA	1・2 前・後		2		1						兼4
	異文化・世界にふれるB	1・2 前・後		2		1						兼4
	第6群 自己・人間をみつめるA	1・2 前・後		2		0						兼4
	自己・人間をみつめるB	1・2 前・後		2		0						兼4
	第7群 キャリアデザインA	1・2 前・後		2								兼2
	キャリアデザインB	1・2 前・後		2								兼2
	第8群 全学共通特殊講義A	1・2 前・後		2								兼2
	全学共通特殊講義B	1・2 前・後		2								兼2
	小計(76科目)	-	2	144	0	3	0	2	0	0	兼55	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	必修科目	フレッシュマンセミナーA	1前	2			5	3	4			
		フレッシュマンセミナーB	1後	2			5	3	4			
		時事英語1	1前	1			1					兼5
		時事英語2	1後	1			1					兼5
		実用コミュニケーション英語1	1前	1			1					兼6
		実用コミュニケーション英語2	1後	1			1					兼6
	選択必修科目	時事英語3	2前		1		1					兼5
		英語で読む現代社会	2後		1		1					兼5
		実用コミュニケーション英語3	2前		1		1					兼6
		実用コミュニケーション英語4	2後		1		1					兼6
		海外英語研修	2通		4		1					
		未修外国語科目 選択科目	ドイツ語初級1A	1・2前		1						
	ドイツ語初級1B		1・2後		1							兼1
	ドイツ語初級2A		1・2前		1							兼1
	ドイツ語初級2B		1・2後		1							兼1
	フランス語初級1A		1・2前		1							兼1
	フランス語初級1B		1・2後		1							兼1
	フランス語初級2A		1・2前		1							兼1
	フランス語初級2B		1・2後		1							兼1
	中国語初級1A		1・2前		1							兼1
	中国語初級1B		1・2後		1							兼1
	中国語初級2A		1・2前		1							兼1
	中国語初級2B		1・2後		1							兼1
	コリア語基礎1A		1・2前		1							兼1
	コリア語基礎1B		1・2後		1							兼1
	コリア語基礎2A		1・2前		1							兼1
	コリア語基礎2B	1・2後		1							兼1	
	小計(27科目)	-	8	24	0	7	3	4	0	0	兼15	
必修科目	社会学入門A	1前	2			1						
	社会学入門B	1後	2			1						
	社会学の諸相	1前	2			1	1	1				
	社会統計入門	1後	2				1					
	情報処理基礎Ⅰ	1前	2					1			兼3	
	情報処理基礎Ⅱ	1後	2					1			兼3	
	社会調査Ⅰ	1前	2				1					
	社会調査Ⅱ	1後	2				1					
	社会学演習Ⅰ	2通	4			5	5	4				
	社会学演習Ⅱ	3通	4			5	5	3				
	卒業研究	4通	4			5	5	3				
	専門教育科目 選択必修科目①	歴史社会学	1前	2			1					
		家族社会学	1後	2			1					
教育社会学		1前	2					1				
格差社会論		1後	2					1				
社会学理論A		2前	2			1						
社会学理論B		2後	2			1						
社会学史		2前	2					1				
組織社会学		2後	2								兼1	
情報と統計基礎実習		2前・後	2								兼1	
量的調査法		2後	2					1				
社会調査法		2前	2								兼1	
成熟社会A		3前	2			1						
成熟社会B		3後	2			1						
社会調査実習		3通	4			1	2	1				
Introduction to Sociology(外書講読)	3前	2			1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	多文化と共生コース 必修科目	国際社会学	2前	2		1							
		多文化社会論	2後	2		1							
		ジェンダーの社会学A	2前	2		1							
		ジェンダーの社会学B	2後	2		1							
		選択必修科目	文化人類学	2前	2		1						
			文化社会学	2後	2		1						
			ケアの社会学	2前	2								兼1
			環境社会学A	3・4前	2								兼1
	環境社会学B		3・4後	2								兼1	
	宗教社会学		3・4前	2								兼1	
	環境政策論		3・4後	2								兼1	
	都市と地域コース 必修科目	都市社会学	2前	2			1						
		地域デザイン論	2後	2				1					
		地域社会学A	2前	2			1						
		地域社会学B	2後	2			1						
		選択必修科目②	福祉医療政策	2前	2								兼1
			ソーシャルキャピタル論	2前	2					1			
			地域福祉論	3・4前	2		1						
			地方自治	3・4前	2								兼1
			行政学	3・4後	2								兼1
			財政学A	3・4前	2					1			
	財政学B		3・4後	2					1				
	メディアと情報コース 必修科目	情報社会論	2後	2					1				
		情報科学概論	2後	2			1						
		マスコミュニケーション論A	2前	2		1							
		マスコミュニケーション論B	2後	2		1							
		選択必修科目	情報システム	2前	2					1			
			マルチメディア論	2前	2		0						
			統計解析基礎	3・4前	2				1				
			統計解析応用	3・4後	2				1				
			メディア社会	3・4後	2					1			
			ジャーナリズム論A	3・4前	2			1					
	ジャーナリズム論B		3・4後	2			1						
共通関連科目 選択必修科目③	心理学概論A	1・2前	2								兼1		
	心理学概論B	1・2後	2								兼1		
	スポーツ社会学	1・2前	2								兼1		
	スポーツ心理学	1・2後	2								兼1		
	ミクロ経済学A	1・2前	2								兼1		
	ミクロ経済学B	1・2後	2								兼1		
	マクロ経済学A	1・2前	2								兼1		
	マクロ経済学B	1・2後	2								兼1		
	キャリアの社会学	2後	2					1					
	経営学概論A	2前	2				1						
	経営学概論B	2後	2				1						
	コミュニケーション論	2前	2								兼1		
	社会システム論A	2前	2			1							
	社会システム論B	2後	2			1							
	社会科学の歴史A	2前	2			1							
社会科学の歴史B	2後	2			1								
公共政策論	3・4前	2								兼1			
行動分析学A	3・4前	2								兼1			
行動分析学B	3・4後	2								兼1			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専任教員科目 選択必修科目③	多文化と共生コース関連科目	国際関係論	1・2前	2							兼1
		サブカルチャー論	1・2前	2		0					兼1
		地域研究(アジア)	2前	2			1				兼1
		地域研究(中東)	2後	2							兼1
		教育心理学A	2前	2							兼1
		教育心理学B	2後	2							兼1
		環境経営	2前	2			1				
		社会心理学A	3・4前	2							兼1
		社会心理学B	3・4後	2							兼1
		社会階層論	3・4前	2			1				
		地域研究(北米)	3・4後	2			0				
		地域研究(ヨーロッパ)	3・4後	2			1				
		セクシュアリティ	3・4前	2							兼1
		エスニシティ	3・4後	2			1				
	都市と地域コース関連科目	民法A	1・2前	2							兼1
		民法B	1・2後	2							兼1
		産業心理学A	2前	2							兼1
		産業心理学B	2後	2							兼1
		コミュニティ心理学	2後	2				1			
		都市・地域政策論	2後	2			1				
		NPO/NGOの社会学	3・4前	2							兼1
		地方財政論	3・4前	2				1			
		金融論	3・4前	2							兼1
		産業社会学A	3・4前	2				1			
		産業社会学B	3・4後	2				1			
		消費者政策	3・4前	2							兼1
		観光社会学	3・4後	2							兼1
		行政法	3・4前	2							兼1
	子ども福祉論	3・4前	2							兼1	
	障がい福祉論	3・4後	2							兼1	
	メディアと情報コース関連科目	心理学基礎実験A	1・2前	2				1			
		心理学基礎実験B	1・2後	2				1			
		マスコミ史	2前	2		1					
臨床心理学		2前	2				1				
心理統計学		2後	2							兼1	
情報ネットワーク		2前	2							兼1	
広告論		3・4後	2		1						
ビッグデータ論		3・4前	2							兼1	
コンテンツ産業論		3・4前	2				1				
プログラミング基礎		3・4前	2				1				
プログラミング応用		3・4後	2				1				
ネットワークコンピューティング		3・4前	2				1				
知的財産法		3・4後	2							兼1	
実験社会心理学A		3・4前	2					1			
実験社会心理学B		3・4後	2					1			
情報処理実習	3・4前	2							兼1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	社会学特殊講義	社会学特殊講義Ⅰ	3・4前	2		1						
		社会学特殊講義Ⅱ	3・4前	2		0						
	キャリア支援	キャリア支援特殊講義Ⅰ	1・2前	2		1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅱ	1・2後	2		1						
		キャリア支援特殊講義Ⅲ	1・2前	2								
		キャリア支援特殊講義Ⅳ	1・2後	2								
		キャリア支援特殊講義Ⅴ	3・4前	2								
		キャリア支援特殊講義Ⅵ	3・4後	2			1					
		キャリア支援特殊講義Ⅶ	3・4前	2								
		キャリア支援特殊講義Ⅷ	3・4後	2			1					
	研修科目	インターンシップ	3前	2								兼1
		社会活動Ⅰ	1通	2		1						
		社会活動Ⅱ	1通	2		1						
		社会活動Ⅲ	1通	2				1				
海外研修A		2前	2		1							
海外研修B		2前	2		1							
国内研修A	2前	2		1								
国内研修B	2前	2					1					
	小計(142科目)	-	28	264	0	8	6	5	0	0	兼37	
外国人留学生に関する日本語科目等	コース活動	フィールドワークA	1・2前	2								兼2
		フィールドワークB	1・2後	2								兼2
	内容コース	日本の政治・経済・社会A	1・2前	2								兼1
		日本の政治・経済・社会B	1・2後	2								兼1
		日本の文化・芸術A	1・2前	2								兼1
		日本の文化・芸術B	1・2後	2								兼1
		日本の歴史A	1・2前	2								兼1
		日本の歴史B	1・2後	2								兼1
		現代日本の諸相A	1・2前	2								兼1
		現代日本の諸相B	1・2後	2								兼1
	言語コース(発展)	理解とコミュニケーションA	1・2前	1								兼2
		理解とコミュニケーションB	1・2後	1								兼2
		資料・文献読解A	1・2前	1								兼3
		資料・文献読解B	1・2後	1								兼3
		日本語文章表現A	1・2前	1								兼2
		日本語文章表現B	1・2後	1								兼2
	小計(16科目)	-	0	26	0	0	0	0	0	0	兼6	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
合計(261科目)		-	38	458	0	9	6	5	0	0	兼110
卒業要件及び履修方法											
<p>全学共通科目から6単位(総合体育AB2単位必修とB系及びテーマ科目1～5群の中から4単位選択必修)</p> <p>基礎教育科目の必修科目8単位、選択必修科目4単位、            専門教育科目の必修科目から28単位、選択必修科目から48単位、            さらに科目区分問わず、30単位の            合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>専門教育科目の選択必修科目48単位分の履修方法は、選択必修科目①から8単位、2年次に3コースのうちいずれかひとつを選択し(選択必修科目②)、16単位を必修及び選択必修とし、4単位を選択したコース以外のコース科目を選択必修、20単位分は関連科目(選択必修科目③)から選んで履修すること要件とする。            (履修科目の登録上限は年間1～4年次44単位まで)</p>											

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・北澤恒人教授の担当科目変更の理由により、「哲学A」及び「哲学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更し、松村健吾兼任講師の就任による理由により、同科目の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」にそれぞれ変更。  
 ・高井（小林）宏子教授の担当科目変更の理由により、「文学A」及び「文学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更。  
 ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「芸術学A」及び「芸術学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更。  
 ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「フレッシュマンセミナーA」及び「フレッシュマンセミナーB」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。  
 ・「実用コミュニケーション英語1～4」について、届出時に記載した兼任・兼任の配置教員数の一部未計上1名分を修正。  
 ・土居良一准教授就任の理由により、「地域研究（アジア）」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加変更。  
 ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「サブカルチャー論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更し、古橋達弘兼任講師の就任による理由により、同科目の兼任・兼任を「兼1」に変更。また、配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。  
 ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「マルチメディア論」、「地域研究（北米）」及び「社会学特殊講義Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更。科目開設時（2年前期）までに後任の専任教員採用予定。  
 ・外国人留学生に関する日本語科目等群の一部科目について、届出時に記載した兼任・兼任の配置教員数の一部未計上分を修正。  
 ・遠藤知佐兼任講師就任辞退の理由により、「日本語文章表現A」及び「日本語文章表現B」の兼任・兼任を「兼3」から「兼2」に変更。

【令和元年度】

・北澤恒人教授の担当科目変更の理由により、「哲学A」及び「哲学B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」にそれぞれ変更し、松村健吾兼任講師定年退職の理由により、同科目の兼任・兼任を「兼2」から「兼1」にそれぞれ変更。  
 ・近藤和都講師就任の理由により、「芸術学A」、「芸術学B」、「マルチメディア論」及び「社会学特殊講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」に変更。  
 ・酒井計史兼任講師担当科目変更の理由により、「社会学A」及び「社会学B」の兼任・兼任を「兼1」に変更。  
 ・高田未里兼任准教授担当科目変更の理由により、「心理学A」及び「心理学B」の兼任・兼任を「兼2」から「兼1」にそれぞれ変更。  
 ・中野紀和教授の担当科目変更の理由により、「文化人類学A」及び「文化人類学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更し、田崎郁子兼任講師の担当科目変更の理由により、同科目の兼任・兼任を「兼1」にそれぞれ変更。  
 ・土居良一准教授の担当科目変更の理由により、「現代社会の諸問題A」及び「現代社会の諸問題B」の専任教員等の配置を「准教授1」に変更し、野瀬元子兼任准教授の担当科目変更の理由により、同科目の兼任・兼任を「兼2」から「兼1」にそれぞれ変更。  
 ・高井（小林）宏子教授の担当科目変更の理由により、「異文化・世界にふれるA」及び「異文化・世界にふれるB」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更し、土居良一准教授の担当科目変更の理由により、同科目の専任教員等の配置を「准教授1」にそれぞれ変更し、千葉一幹兼任教授の担当科目変更の理由により、同科目の兼任・兼任を「兼4」から「兼3」にそれぞれ変更。  
 ・社会学関連の科目・社会病理、キャリア形成につながる法律・憲法系の科目など、学生が受講を希望する科目を開講するため、全学共通科目に発展科目を18科目追加した。  
 ・齋藤博准教授辞任の理由により、「フレッシュマンセミナーA」及び「フレッシュマンセミナーB」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」にそれぞれ変更。近藤和都講師及び八木原大講師就任の理由により、同科目の専任教員等の配置を「講師4」から「講師6」にそれぞれ変更。  
 ・齋藤博准教授辞任の理由により、「社会学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。八木原大講師就任の理由により、同科目の専任教員等の配置を「講師4」から「講師5」に変更。  
 ・齋藤博准教授辞任の理由により、「社会学演習Ⅱ」及び「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」にそれぞれ変更。八木原大講師就任の理由により、同科目の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」にそれぞれ変更。  
 ・馬場靖雄教授の担当科目変更の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更。  
 ・齋藤博准教授辞任の理由により、「社会調査実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。科目開設時（3年前期）までに後任を採用予定。  
 ・「ケアの社会学」、「地域研究（アジア）」、「海外研修A」及び「海外研修B」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。  
 ・齋藤博准教授辞任の理由により、「都市社会学」及び「都市・地域政策論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」にそれぞれ変更し、沼田真一兼任講師就任の理由により、同科目の兼任・兼任を「兼1」にそれぞれ変更。  
 ・八木原大講師就任の理由により、「福祉医療政策」、「公共政策論」及び「インターンシップ」の専任教員等の配置を「講師1」にそれぞれ変更し、兼任・兼任を「兼1」から「兼0」にそれぞれ変更。  
 ・井島由佳助教就任及び担当科目変更の理由により、「心理学概論A」、「心理学概論B」、「教育心理学A」、「教育心理学B」、「キャリア支援特殊講義Ⅲ」及び「キャリア支援特殊講義Ⅳ」の専任教員等の配置を「助教1」にそれぞれ変更し、兼任・兼任を「兼1」から「兼0」にそれぞれ変更。  
 ・「国際関係論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。  
 ・近藤和都講師就任の理由により、「サブカルチャー論」の専任教員等の配置を「講師1」に変更し、古橋達弘兼任講師退職の理由により、同科目の兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。  
 ・土居良一准教授の担当科目変更の理由により、「地域研究（アジア）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。  
 ・大上忠幸兼任准教授退職の理由により、「フィールドワークA」及び「フィールドワークB」の兼任・兼任を「兼2」から「兼1」にそれぞれ変更。  
 ・副専攻科目に課外スポーツ活動を行う学生を対象とした、スポーツ科学系副専攻科目を11科目設置（各科目とも兼任・兼任教員配置を「兼1」）した。  
 ・副専攻科目に学生の留学レベルの総合的な英語力を養成するために、留学（英語）副専攻科目を15科目設置（各科目とも兼任・兼任教員配置を「兼1」）した。

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	242 科目	0 科目	261 科目	19 科目 [ 0 ]	286 科目 [ 44 ]	0 科目 [ 0 ]	305 科目 [ 0 ]	全学共通科目に発展科目を18科目追加 副専攻科目として、スポーツ科学系科目を11科目、留学（英語）科目を15科目設置（元）

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	Reading and Writing II	1	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
2	Communication and Discussion II	1	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
3	Academic Writing	1	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
4	Discussion and Presentation	1	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
5	グローバルスタディ1	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
6	グローバルスタディ2	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
7	グローバルスタディ3	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
8	グローバルスタディ4	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
9	グローバルスタディ5	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
10	グローバルスタディ6	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
11	グローバルスタディ7	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。
12	グローバルスタディ8	2	1年	一般	選択	担当教員のコマ数調整により、令和元年度は休講とし、次年度以降開講予定とする。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。



(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【大学の所見】

令和元年度の未開講科目は、主専攻科目ではない「留学（英語）副専攻」科目であることから、次年度以降に開講することで学生の履修に影響がないと判断した。

【学生への周知方法】

学生へは、ガイダンスにて休講の経緯や次年度以降に開講する旨の報告を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{12}{305} = \boxed{3.93} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地等「その他」… 「校地面積」不算入施 設用地が含まれていた ことによる修正 (30)			
	校舎敷地	66,525.45 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	66,525.45 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	47,531.69 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	47,531.69 m <sup>2</sup>				
	小 計	114,057.14 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	114,057.14 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	161,612.31 <del>162,220.71</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	161,612.31 <del>162,220.71</del>				
	合 計	275,669.45 <del>276,277.85</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	275,669.45 <del>276,277.85</del>				
(2) 校 舎	専 用	115,205.21 <del>115,154.57</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,205.21 <del>115,154.57</del>	大学全体 東松山校舎2号館増築 部完成による増加 (元)			
	( 111,810.57 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 111,810.57 m <sup>2</sup> )					
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教 室 等	176 <del>168</del> 室	36 室	18 室	27 室 (補助職員 10 人)	9 室 (補助職員 8 人)	既設学部・学科との共有 を含む 東松山校舎2号館増築部 完成または用途目的変更 による増減 (元)			
	新設学部等の名称 社会学部 社会学科			室 数 -20- 22 室					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 社会学部 社会学科				室 数 -20- 22 室		特任教授1名 講師2名 助教1名の就任と准教授1 名の辞任による研究室数 の修正 (元)		
	(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点		標 本 点	
			冊	種					電子ジャーナル 〔うち外国書〕
			249,755 [58,506] 275,251 [60,850] <del>248,122 [58,371]</del> (247,416 [58,275])	1,221 [375] <del>1,135 [293]</del> (1,135 [293])					86 [82] ( 86 [82])
計	249,755 [58,506] 275,251 [60,850] <del>248,122 [58,371]</del> (247,416 [58,275])	1,221 [375] <del>1,135 [293]</del> (1,135 [293])	86 [82] ( 86 [82])	1,697 <del>1,873</del> 1,697	0 0	0 0			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	14,659.66 m <sup>2</sup>		1,759 席		1,750,600				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				面積…申請時未計上分 を追加修正 (30)		
	13,956.56 m <sup>2</sup> <del>11,443.20 m<sup>2</sup></del>		野球場、ラグビー場、テニスコート、弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等…大学全 体。申請者数が見込み より下回ったことによ る差額 (30) 図書購入費及び設備購 入費…購入計画等の精 査による修正変更 (30) 図書購入費及び設備購 入費…図書、教育用品 及び機器備品の購入 による修正 (元)
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	14,575千円 <del>14,889千円</del> 8,629千円	0千円 17千円 11,833千円	13,674千円 <del>5,600千円</del> 13,674千円	
	共同研究費等	9,000千円 20,000千円	20,000千円	設備購入費	872千円 3,294千円	6,549千円 <del>6,554千円</del> 1,500千円	6,554千円 6,000千円		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	1,204千円	947千円	947千円	947千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA.C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大東文化大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
<大学>										
文学部	4	630	—	2,340	—	1.05	—	昭和37		定員変更 (△30)
日本文学科	4	150	—	600	学士 (日本文学)	1.06	—	昭和37		
中国文学科	4	70	—	310	学士 (中国文学)	1.05	平成29	昭和37		
英米文学科	4	130	—	520	学士 (英米文学)	1.06	—	昭和42		
教育学科	4	120	—	470	学士 (教育学)	1.03	平成29	昭和47		
書道学科	4	60	—	240	学士 (書道学)	1.03	—	平成12		
歴史文化学科	4	100	—	200	学士 (歴史文化学)	0.98	—	平成30		
経済学部	4	370	—	1,470	—	1.03	—	昭和37	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560	定員変更 (5)
社会経済学科	4	205	—	815	学士 (経済学)	1.04	平成29	昭和37		
現代経済学科	4	165	—	655	学士 (経済学)	1.02	平成29	平成13		
外国語学部	4	360	—	1,470	—	1.06	—	昭和47		定員変更 (△30)
中国語学科	4	70	—	310	学士 (中国語学)	1.06	平成29	昭和47		
英語学科	4	230	—	920	学士 (英語学)	1.04	—	昭和47		
日本語学科	4	60	—	240	学士 (日本語学)	1.11	—	平成5		
法学部	4	375	—	1,500	—	1.04	—	昭和48		
法律学科	4	225	—	900	学士 (法学)	1.04	—	昭和48		
政治学科	4	150	—	600	学士 (政治学)	1.03	—	平成2		
国際関係学部	4	200	—	800	—	1.07	—	昭和61	埼玉県東松山市 岩殿560	
国際関係学科	4	100	—	400	学士 (国際関係)	1.08	—	昭和61		
国際文化学科	4	100	—	400	学士 (国際関係)	1.06	—	昭和61		
経営学部	4	365	—	1,445	—	1.04	—	平成12	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560	定員変更 (15)
経営学科	4	365	—	1,445	学士 (経営学)	1.04	平成29	平成12		
企業システム学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	—	平成12		
環境創造学部	4	—	—	—	—	—	—	平成13	(3・4年次) 東京都板橋区高島平 1-9-1	平成30年 学生募集停止
環境創造学科	4	—	—	—	学士 (環境創造学)	—	—	平成13		

大学の名称	大東文化大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
スポーツ・健康科学部	4	325	—	1,275	—	1.05	—	平成17		
スポーツ科学科	4	125	—	475	学士 (スポーツ科学)	1.12	平成29	平成17		定員変更 (25)
健康科学科	4	100	—	400	学士 (健康科学)	0.97	—	平成17	埼玉県東松山市 岩殿560	
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.00	—	平成30		
社会学部	4	200	—	400	—	0.99	—	平成30		
社会学科	4	200	—	400	学士 (社会学)	0.99	—	平成30	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560 (3・4年次) 東京都板橋区高島平 1-9-1	
大学全体	4	2,825	—	10,700	—	1.04	—	—	—	
<大学院>										
文学研究科										
(博士前期課程)	2	23	—	55	—	0.50	—	昭和39		
日本文学専攻	2	3	—	8	修士 (日本文学)	0.36	令和元	昭和39		定員変更 (△2)
中国学専攻	2	3	—	8	修士 (中国学)	0.16	令和元	昭和39		定員変更 (△2)
英文学専攻	2	5	—	10	修士 (英文学)	0.70	—	昭和53		
書道学専攻	2	7	—	14	修士 (書道学)	0.99	—	平成15		
教育学専攻	2	5	—	15	修士 (教育学)	0.15	令和元	平成20		定員変更 (△5)
(博士後期課程)	3	8	—	30	—	0.25	—	昭和47		
日本文学専攻	3	3	—	13	博士 (日本文学)	0.13	令和元	昭和47		定員変更 (△2)
中国学専攻	3	2	—	8	博士 (中国学)	0.00	令和元	昭和42		定員変更 (△1)
書道学専攻	3	3	—	9	博士 (書道学)	0.66	—	平成17		
経済学研究科										
(博士前期課程)										
経済学専攻	2	5	—	15	修士 (経済学) (公共政策学)	0.20	令和元	昭和47		定員変更 (△5)
(博士後期課程)										
経済学専攻	3	3	—	13	博士 (経済学)	0.00	令和元	昭和53		定員変更 (△2)
法学研究科										
(博士前期課程)	4	9	—	26	—	0.00	—	昭和52		
法律学専攻	2	5	—	15	修士 (法学)	0.00	令和元	昭和52		定員変更 (△5)
政治学専攻	2	4	—	11	修士 (政治学) (公共政策学)	0.00	令和元	平成6		定員変更 (△3)

大学 の 名 称	大東文化大学									備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
(博士後期課程)	6	4	—	22	—	0.00	—	平成3	埼玉県東松山市 岩殿560	定員変更 (△3) 定員変更 (△2)	
法律学専攻	3	2	—	12	博士 (法学)	0.00	令和元	平成3			
政治学専攻	3	2	—	10	博士 (政治学)	0.00	令和元	平成8			
外国語学研究科											
(博士前期課程)	6	15	—	35	—	0.49	—	平成11		埼玉県東松山市 岩殿560	定員変更 (△5)          定員変更 (△1)
中国言語文化学専攻	2	5	—	10	修士 (中国言語 文化学)	0.80	—	平成11			
英語学専攻	2	5	—	10	修士 (英語学)	0.50	—	平成11			
日本語文化学専攻	2	5	—	15	修士 (日本語 文化学)	0.30	令和元	平成11			
(博士後期課程)	9	8	—	26	—	0.60	—	平成17			
中国言語文化学専攻	3	3	—	9	博士 (中国言語 文化学)	0.77	—	平成23			
英語学専攻	3	3	—	9	博士 (英語学)	0.77	—	平成17			
日本語文化学専攻	3	2	—	8	博士 (日本語 文化学)	0.22	令和元	平成19			
アジア地域研究科											
(博士前期課程)											
アジア地域研究専攻	2	7	—	19	修士 (アジア 地域研究)	0.37	令和元	平成11	埼玉県東松山市 岩殿560	定員変更 (△5)	
(博士後期課程)											
アジア地域研究専攻	3	2	—	10	博士 (アジア 地域研究)	0.16	令和元	平成13	埼玉県東松山市 岩殿560	定員変更 (△2)	
経営学研究科											
(博士前期課程)											
経営学専攻	2	10	—	25	修士 (経営学)	0.33	令和元	平成15	東京都板橋区高島平 1-9-1	定員変更 (△5)	
(博士後期課程)											
経営学専攻	3	3	—	13	博士 (経営学)	0.13	令和元	平成15	東京都板橋区高島平 1-9-1	定員変更 (△2)	
スポーツ・健康科学 研究科											
スポーツ・健康科学 専攻(修士課程)	2	10	—	20	修士 (スポーツ科学) (健康科学)	1.05	—	平成21	埼玉県東松山市 岩殿560		
法務研究科	3	—	—	—	—	—	—	平成16	東京都板橋区高島平 1-9-1	平成27年 学生募集停止	
法務専攻 (専門職学位課程)	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	—	平成16			
大学院全体	—	107	—	266	—	0.38	—	—	—		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び  
高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている  
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を  
記入してください。

5 教員組織の状況

<社会学部 社会学科>

(1) ① 担当教員表  
【届出時】

専任・兼任・兼任の別		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	【平成30年度】		【令和元年度】			
職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		
	担当授業科目名							
専	教授	馬場 靖雄 <平成30年4月> 文学修士※	専	教授	馬場 靖雄 <平成30年4月> 文学修士※	専	教授	馬場 靖雄 <平成30年4月> 文学修士※  フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学入門A 社会学入門B 社会学の諸相※ 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会学理論A 社会学理論B 社会システム論A 社会システム論B
専	教授	植野 一芳 <平成30年4月> 経済学修士※	専	教授	植野 一芳 <平成30年4月> 経済学修士※	専	教授	植野 一芳 <平成30年4月> 経済学修士※  フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 成熟社会A 成熟社会B 地域福祉論 社会活動I 国内研修A
専	教授	川野 幸男 <平成30年4月> Ph. D. (Sociology) (アメリカ)	専	教授	川野 幸男 <平成30年4月> Ph. D. (Sociology) (アメリカ)	専	教授	川野 幸男 <平成30年4月> Ph. D. (Sociology) (アメリカ)  フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 国際社会学 多文化社会論 社会階層論 エスニシティ
専	教授	北澤 恒人 <平成30年4月> 文学修士※	専	教授	北澤 恒人 <平成30年4月> 文学修士※	専	教授	北澤 恒人 <平成30年4月> 文学修士※  フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB Introduction to Sociology (外書講読) 社会科学の歴史A 社会科学の歴史B 地域研究 (ヨーロッパ) 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B
専	教授	高井(小林) 宏子 <平成30年4月> 文学修士※	専	教授	高井(小林) 宏子 <平成30年4月> 文学修士※	専	教授	高井(小林) 宏子 <平成30年4月> 文学修士※  時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会学A 文学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB
専	特任教授	高井(小林) 宏子 <令和3年4月> 文学修士※	専	特任教授	高井(小林) 宏子 <令和3年4月> 文学修士※	専	特任教授	高井(小林) 宏子 <令和3年4月> 文学修士※  時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会学

【届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授				
	中垣 恒太郎 <平成30年4月> 修士(文学)				
	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB マルチメディア論 サブカルチャー論 地域研究(北米) 社会学特殊講義II 芸術学A 芸術学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 自己・人間をみつめるA 自己・人間をみつめるB				
専	教授	専	教授	専	教授
	中野 紀和 <平成30年4月> 博士(社会学)		中野 紀和 <平成30年4月> 博士(社会学)		中野 紀和 <平成30年4月> 博士(社会学)
	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 文化人類学 文化社会学 文化人類学A 文化人類学B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 文化人類学 文化社会学 文化人類学A 文化人類学B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 文化人類学 文化社会学
専	教授	専	教授	専	教授
	山口 みどり <平成30年4月> Ph.D. (Sociology) (イギリス)		山口 みどり <平成30年4月> Ph.D. (Sociology) (イギリス)		山口 みどり <平成30年4月> Ph.D. (Sociology) (イギリス)
	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 歴史社会学 家族社会学 ジェンダーの社会学A ジェンダーの社会学B 社会活動II		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 歴史社会学 家族社会学 ジェンダーの社会学A ジェンダーの社会学B 社会活動II		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 歴史社会学 家族社会学 ジェンダーの社会学A ジェンダーの社会学B 社会活動II
専	教授	専	教授	専	教授
	Ronald Geoffrey STEWART <平成30年4月> 博士(学術)		Ronald Geoffrey STEWART <平成30年4月> 博士(学術)		Ronald Geoffrey STEWART <平成30年4月> 博士(学術)
	実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4 海外英語研修 社会学特殊講義I キャリア支援特殊講義I キャリア支援特殊講義II 海外研修B		実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4 海外英語研修 社会学特殊講義I キャリア支援特殊講義I キャリア支援特殊講義II 海外研修B		実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4 海外英語研修 社会学特殊講義I キャリア支援特殊講義I キャリア支援特殊講義II 海外研修B
専	特任教授	専	特任教授	専	特任教授
	野嶋 剛 <令和元年4月> 修士(環境マネジメント)		野嶋 剛 <令和元年4月> 修士(環境マネジメント)		野嶋 剛 <平成31年4月> 修士(環境マネジメント)
	マスコミュニケーション論A マスコミュニケーション論B ジャーナリズム論A ジャーナリズム論B マスコミ史 広告論 キャリア支援特殊講義VII 海外研修A		マスコミュニケーション論A マスコミュニケーション論B ジャーナリズム論A ジャーナリズム論B マスコミ史 広告論 キャリア支援特殊講義VII 海外研修A		マスコミュニケーション論A マスコミュニケーション論B ジャーナリズム論A ジャーナリズム論B マスコミ史 広告論 キャリア支援特殊講義VII 海外研修A

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	阿部 英之助 <平成30年4月> 博士(社会学)	専	准教授	阿部 英之助 <平成30年4月> 博士(社会学)	専	准教授	阿部 英之助 <平成30年4月> 博士(社会学)
		社会調査Ⅰ 社会調査Ⅱ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 地域社会学A 地域社会学B			社会調査Ⅰ 社会調査Ⅱ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 地域社会学A 地域社会学B			社会調査Ⅰ 社会調査Ⅱ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 地域社会学A 地域社会学B
専	准教授	上地 宏一 <平成30年4月> 博士(政策・メディア)	専	准教授	上地 宏一 <平成30年4月> 博士(政策・メディア)	専	准教授	上地 宏一 <平成30年4月> 博士(政策・メディア)
		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 情報科学概論 プログラミング基礎 プログラミング応用 ネットワークコンピュティング			フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 情報科学概論 プログラミング基礎 プログラミング応用 ネットワークコンピュティング			フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 情報科学概論 プログラミング基礎 プログラミング応用 ネットワークコンピュティング
専	准教授	小湊 浩二 <平成30年4月> 修士(教育学) 修士(経済学) ※	専	准教授	小湊 浩二 <平成30年4月> 修士(教育学) 修士(経済学) ※	専	准教授	小湊 浩二 <平成30年4月> 修士(教育学) 修士(経済学) ※
		社会学の諸相※ 社会統計入門 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 統計解析基礎 統計解析応用 産業社会学A 産業社会学B			社会学の諸相※ 社会統計入門 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 統計解析基礎 統計解析応用 産業社会学A 産業社会学B			社会学の諸相※ 社会統計入門 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 統計解析基礎 統計解析応用 産業社会学A 産業社会学B
専	准教授	齋藤 博 <平成30年4月> 修士(工学)	専	准教授	齋藤 博 <平成30年4月> 修士(工学)			
		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 都市社会学 都市・地域政策論			フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 都市社会学 都市・地域政策論			
専	准教授	鶴田 佳史 <平成30年4月> 修士(経営学)※	専	准教授	鶴田 佳史 <平成30年4月> 修士(経営学)※	専	准教授	鶴田 佳史 <平成30年4月> 修士(経営学)※
		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 経営学概論A 経営学概論B 環境経営 キャリア支援特殊講義VI			フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 経営学概論A 経営学概論B 環境経営 キャリア支援特殊講義VI			フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 経営学概論A 経営学概論B 環境経営 キャリア支援特殊講義VI
			専	准教授	土居 良一 <平成30年4月> 博士(学術)	専	准教授	土居 良一 <平成30年4月> 博士(学術)
					地域研究(アジア)			異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B



【届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	講師 小野田 竜一 <平成30年4月> 博士(文学)	専	講師 小野田 竜一 <平成30年4月> 博士(文学)	専	講師 小野田 竜一 <平成30年4月> 博士(文学)
	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB コミュニティ心理学 心理学基礎実験A 心理学基礎実験B 臨床心理学 実験社会心理学A 実験社会心理学B 心理学A 心理学B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB コミュニティ心理学 心理学基礎実験A 心理学基礎実験B 臨床心理学 実験社会心理学A 実験社会心理学B 心理学A 心理学B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB コミュニティ心理学 心理学基礎実験A 心理学基礎実験B 臨床心理学 実験社会心理学A 実験社会心理学B 心理学A 心理学B
専	講師 香川 めい <平成30年4月> 修士(教育学)	専	講師 香川 めい <平成30年4月> 修士(教育学)	専	講師 香川 めい <平成30年4月> 修士(教育学)
	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 教育社会学 格差社会論 社会学史 量的調査法 キャリアの社会学 社会学A 社会学B 教育学A 教育学B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 教育社会学 格差社会論 社会学史 量的調査法 キャリアの社会学 社会学A 社会学B 教育学A 教育学B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 教育社会学 格差社会論 社会学史 量的調査法 キャリアの社会学 社会学A 社会学B 教育学A 教育学B
専	講師 周東 美材 <平成30年4月> 博士(社会情報学)	専	講師 周東 美材 <平成30年4月> 博士(社会情報学)	専	講師 周東 美材 <平成30年4月> 博士(社会情報学)
	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学の諸相※ 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 情報社会論 情報システム メディア社会 コンテンツ産業論		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学の諸相※ 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 情報社会論 情報システム メディア社会 コンテンツ産業論		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学の諸相※ 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 情報社会論 情報システム メディア社会 コンテンツ産業論
専	講師 塚本 正文 <平成30年4月> 修士(経済学)	専	講師 塚本 正文 <平成30年4月> 修士(経済学)	専	講師 塚本 正文 <平成30年4月> 修士(経済学)
	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 財政学A 財政学B 地方財政論 社会活動III 国内研修B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 財政学A 財政学B 地方財政論 社会活動III 国内研修B		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 財政学A 財政学B 地方財政論 社会活動III 国内研修B
専	講師 飯塚 裕介 <平成30年4月> 博士(工学)	専	講師 飯塚 裕介 <平成30年4月> 博士(工学)	専	講師 飯塚 裕介 <平成30年4月> 博士(工学)
	情報処理基礎I 情報処理基礎II 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 地域デザイン論 ソーシャルキャピタル論		情報処理基礎I 情報処理基礎II 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 地域デザイン論 ソーシャルキャピタル論		情報処理基礎I 情報処理基礎II 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 地域デザイン論 ソーシャルキャピタル論

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								近藤 和都 <令和元年4月> 博士(学際情報学)
							専 講師	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB サブカルチャー論 マルクスメディア論 社会学特殊講義II 芸術学A 芸術学B
								八木原 大 <令和元年4月> 博士(経済学)
							専 講師	フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 福祉医療政策 公共政策論 インターナショナル
								井島 由佳 <平成30年4月> 博士(学術)
							専 助教	心理学概論A 心理学概論B 教育心理学A 教育心理学B キャリア支援特殊講義III キャリア支援特殊講義IV
							兼任 教授	岩橋 俊哉 <令和元年4月> 教育学修士※
								情報処理
兼任	教授	臼井 英一 <平成30年4月> Ph.D. (International law) (イギリス)					兼任 教授	臼井 英一 <令和元年4月> Ph.D. (International law) (イギリス)
								国際関係論
兼任	教授	浦田 健二 <平成30年4月> 理学博士	兼任	教授	浦田 健二 <平成30年4月> 理学博士	兼任	教授	浦田 健二 <平成30年4月> 理学博士
								現代科学A 現代科学B 自然科学A 自然科学B
兼任	教授	大杉 由香 <平成30年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	大杉 由香 <平成30年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	大杉 由香 <平成30年4月> 博士(経済学)
								現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B
兼任	教授	大月 実 <平成30年4月> 博士(言語学)	兼任	教授	大月 実 <平成30年4月> 博士(言語学)	兼任	教授	大月 実 <平成30年4月> 博士(言語学)
								言語学A 言語学B
兼任	教授	岡崎 邦彦 <平成30年4月> 経済学修士	兼任	教授	岡崎 邦彦 <平成30年4月> 経済学修士	兼任	教授	岡崎 邦彦 <平成30年4月> 経済学修士
								歴史学A 歴史学B

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	加瀬 幸喜 <平成30年4月> 法学修士	兼任	教授	加瀬 幸喜 <平成30年4月> 法学修士			
		法学A 法学B			法学A 法学B			
兼任	教授	上村 圭介 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	上村 圭介 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	上村 圭介 <平成30年4月> 博士(学術)
		言語学A 言語学B 資料・文献読解A 資料・文献読解B			言語学A 言語学B 資料・文献読解A 資料・文献読解B			言語学A 言語学B 日本語文章表現A 日本語文章表現B
兼任	教授	遠藤 元 <令和元年4月> 博士(理学)	兼任	教授	遠藤 元 <令和元年4月> 博士(理学)	兼任	教授	遠藤 元 <令和元年4月> 博士(理学)
		地域研究(アジア)			地域研究(アジア)			地域研究(アジア)
						兼任	教授	岡本 信広 <令和元年4月> 博士(経済学) (中国)
								日本の政治・経済・ 社会B Basic Skills Reading and Writing I Communication and Discussion I
兼任	教授	川本 竜史 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	川本 竜史 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	川本 竜史 <平成30年4月> 博士(学術)
		総合体育A 総合体育B			総合体育A 総合体育B			総合体育A 総合体育B
						兼任	教授	河野 良継 <令和元年4月> 博士(法学)
								日本国憲法 法学概論
兼任	教授	島田 恵司 <令和2年4月> 博士(政治学)	兼任	教授	島田 恵司 <令和2年4月> 博士(政治学)	兼任	教授	島田 恵司 <令和2年4月> 博士(政治学)
		地方自治			地方自治			地方自治
兼任	教授	高尾 謙史 <平成30年4月> 文学修士						
		文学A 文学B						
兼任	教授	竹島 毅 <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	竹島 毅 <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	竹島 毅 <平成30年4月> 文学修士
		中国語初級1A 中国語初級1B			中国語初級1A 中国語初級1B			中国語初級1A 中国語初級1B
兼任	教授	武田 知己 <平成30年4月> 博士(政治学)	兼任	教授	武田 知己 <平成30年4月> 博士(政治学)	兼任	教授	武田 知己 <平成30年4月> 博士(政治学)
		政治学A 政治学B			政治学A 政治学B			政治学A 政治学B
兼任	教授	只隈 伸也 <平成30年4月> 栄養学修士	兼任	教授	只隈 伸也 <平成30年4月> 栄養学修士	兼任	教授	只隈 伸也 <平成30年4月> 栄養学修士
		総合体育A 総合体育B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B			総合体育A 総合体育B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B			総合体育A 総合体育B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B

【届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授 田中 達也 <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	教授 田中 達也 <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	教授 田中 達也 <平成30年4月> 博士(文学)
	地理学A 地理学B 地域・国家・民族の 考察A 地域・国家・民族の 考察B		地域・国家・民族の 考察A 地域・国家・民族の 考察B		地域・国家・民族の 考察A 地域・国家・民族の 考察B 日本の人文地理 世界の人文地理 日本地誌叢論 世界地誌叢論
兼任	教授 田中 博史 <平成30年4月> 修士(体育学)	兼任	教授 田中 博史 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授 田中 博史 <平成30年4月> 博士(医学)
	総合体育A 総合体育B 野外実習A 野外実習B スポーツ心理学		総合体育A 総合体育B 野外実習A 野外実習B スポーツ心理学		総合体育A 総合体育B 野外実習A 野外実習B スポーツ心理学 スポーツ選手の心理
兼任	教授 千葉 一幹 <平成30年4月> 学術修士	兼任	教授 千葉 一幹 <平成30年4月> 学術修士	兼任	教授 田中 寛 <令和元年4月> 博士(文学)
	文学A 文学B 異文化・世界にふれ るA 異文化・世界にふれ るB		文学A 文学B 異文化・世界にふれ るA 異文化・世界にふれ るB		理解とコミュニケー ションA 理解とコミュニケー ションB 資料・文献読解A 資料・文献読解B
兼任	教授 寺田 浩司 <平成30年4月> 農学修士	兼任	教授 寺田 浩司 <平成30年4月> 農学修士	兼任	教授 寺田 浩司 <平成30年4月> 農学修士
	生物学A 生物学B 現代科学A 現代科学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B		生物学A 生物学B 現代科学A 現代科学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B		生物学A 生物学B 現代科学A 現代科学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B
兼任	教授 内藤 二郎 <平成30年4月> 博士(経済学)				
	現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B				
兼任	教授 中井 睦美 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	教授 中井 睦美 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	教授 中井 睦美 <平成30年4月> 博士(理学)
	地学A 地学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B		地学A 地学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B		地学A 地学B
兼任	教授 中澤 紀子 <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授 中澤 紀子 <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授 中澤 紀子 <平成30年4月> 教育学修士
	自己・人間を見つめ るA 自己・人間を見つめ るB		自己・人間を見つめ るA 自己・人間を見つめ るB		自己・人間を見つめ るA 自己・人間を見つめ るB
兼任	教授 中村 年春 <令和2年4月> 法学修士	兼任	教授 中村 年春 <令和2年4月> 法学修士	兼任	教授 中村 年春 <令和2年4月> 法学修士
	消費者政策 キャリア支援特殊講 義V キャリア支援特殊講 義VII		消費者政策 キャリア支援特殊講 義V キャリア支援特殊講 義VII		消費者政策 キャリア支援特殊講 義V キャリア支援特殊講 義VII

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	中村 正雄 <平成30年4月> 教育学修士 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B	兼任	教授	中村 正雄 <平成30年4月> 教育学修士 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B	兼任	教授	中村 正雄 <平成30年4月> 教育学修士 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B
兼任	教授	新里 孝一 <平成30年4月> 修士(法学)※ ケアの社会学 日本の政治・経済・ 社会A 日本の政治・経済・ 社会B	兼任	教授	新里 孝一 <令和元年4月> 修士(法学)※ ケアの社会学	兼任	教授	新里 孝一 <令和元年4月> 修士(法学)※ ケアの社会学 日本の政治・経済・ 社会A
						兼任	教授	浜田 久美子 <令和元年4月> 博士(文学) 日本史概論A 日本史概論B
						兼任	教授	福島 斉 <令和元年4月> 医学士 スポーツ選手の医学
						兼任	教授	細田 映江 <令和元年4月> 文学士 キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	教授	水谷 正大 <平成30年4月> 理学博士 情報科学A 情報科学B	兼任	教授	水谷 正大 <平成30年4月> 理学博士 情報科学A 情報科学B	兼任	教授	水谷 正大 <平成30年4月> 理学博士 情報科学A 情報科学B
兼任	教授	宮城 修 <平成30年4月> 博士(体育学) 総合体育A 総合体育B	兼任	教授	宮城 修 <平成30年4月> 博士(体育学) 総合体育A 総合体育B	兼任	教授	宮城 修 <平成30年4月> 博士(体育学) 総合体育A 総合体育B
兼任	教授	宮瀬 交二 <平成30年4月> 博士(学術) 考古学A 考古学B						
兼任	教授	武藤 慎一 <平成30年4月> 博士(文学) 宗教学A 宗教学B						
兼任	教授	森 稔樹 <令和2年4月> 修士(法学) 行政法	兼任	教授	森 稔樹 <令和2年4月> 修士(法学) 行政法	兼任	教授	森 稔樹 <令和2年4月> 修士(法学) 行政法
兼任	教授	森 浩寿 <平成30年4月> 修士(教育学)※ スポーツ社会学	兼任	教授	森 浩寿 <平成30年4月> 修士(教育学)※ スポーツ社会学	兼任	教授	森 浩寿 <平成30年4月> 修士(教育学)※ スポーツ社会学
兼任	教授	山下 東子 <平成30年4月> 博士(学術) 経済学A 経済学B	兼任	教授	山下 東子 <平成30年4月> 博士(学術) 経済学A 経済学B	兼任	教授	山下 東子 <平成30年4月> 博士(学術) 経済学A 経済学B

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	山根 雄一郎 <平成30年4月> 博士(文学) 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B	兼任	教授	山根 雄一郎 <平成30年4月> 博士(文学) 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B	兼任	教授	山根 雄一郎 <平成30年4月> 博士(文学) 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B 倫理学概論A 倫理学概論B
						兼任	准教授	厚 香苗 (43) <令和元年4月> 博士(文学) 民俗学A 民俗学B
兼任	准教授	池本 今日子 <平成30年4月> 博士(文学) 歴史学A 歴史学B 文化史A 文化史B	兼任	准教授	池本 今日子 <平成30年4月> 博士(文学) 歴史学A 歴史学B 文化史A 文化史B	兼任	准教授	池本 今日子 <平成30年4月> 博士(文学) 歴史学A 歴史学B 文化史A 文化史B
兼任	准教授	大上 忠幸 <平成30年4月> 博士(教育学) フィールドワークA フィールドワークB 理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB	兼任	准教授	大上 忠幸 <平成30年4月> 博士(教育学) フィールドワークA フィールドワークB 理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB			
兼任	准教授	大河原 尚 <平成30年4月> 修士(認知科学) フィールドワークA フィールドワークB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B	兼任	准教授	大河原 尚 <平成30年4月> 修士(認知科学) フィールドワークA フィールドワークB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B	兼任	准教授	大河原 尚 <平成30年4月> 修士(認知科学) フィールドワークA フィールドワークB 資料・文献読解A 資料・文献読解B
兼任	准教授	工藤 保子 <令和元年4月> 体育学修士 体育実技A 体育実技B				兼任	准教授	工藤 保子 <令和元年4月> 体育学修士 スポーツマネジメント論
兼任	准教授	白井 康之 <令和3年4月> 博士(工学) ビッグデータ論	兼任	准教授	白井 康之 <令和3年4月> 博士(工学) ビッグデータ論	兼任	准教授	白井 康之 <令和2年4月> 博士(工学) ビッグデータ論
兼任	准教授	金澤 妙子 <平成30年4月> 家政学修士 女性・子ども・老人 への視点A 女性・子ども・老人 への視点B	兼任	准教授	金澤 妙子 <平成30年4月> 家政学修士 女性・子ども・老人 への視点A 女性・子ども・老人 への視点B	兼任	准教授	金澤 妙子 <平成30年4月> 家政学修士 女性・子ども・老人 への視点A 女性・子ども・老人 への視点B
			兼任	准教授	勝俣 康之 <令和元年4月> 修士(スポーツ健康 学) 体育実技A 体育実技B	兼任	准教授	勝俣 康之 <令和元年4月> 修士(スポーツ健康 学) 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B 体育実技A 体育実技B スポーツ科学入門 トレーニング理論と 実践 競技スポーツ演習Ⅰ 競技スポーツ演習Ⅱ 競技スポーツ演習Ⅲ 競技スポーツ演習Ⅳ
兼任	准教授	蕪木 智子 <平成30年4月> 博士(学術) 現代科学A 現代科学B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B	兼任	准教授	蕪木 智子 <平成30年4月> 博士(学術) 現代科学A 現代科学B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B	兼任	准教授	蕪木 智子 <平成30年4月> 博士(学術) 現代科学A 現代科学B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	神谷 諭一 <平成30年4月> 博士(数理学)
		数学A 数学B 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼任	准教授	小林 春樹 <平成30年4月> 文学修士
		歴史学A 歴史学B
兼任	准教授	白井 春人 <平成30年4月> 文学修士
		芸術学A 芸術学B
兼任	准教授	杉田 明宏 <平成30年4月> 教育学修士
		人権・民主主義・平和を考えるA 人権・民主主義・平和を考えるB
兼任	准教授	高屋 康彦 <平成30年4月> 博士(理学)
		地理学A 地理学B
兼任	准教授	萩原 基裕 <平成30年4月> 博士(法学)
		法学A 法学B
兼任	准教授	橋本 みのり <平成30年4月> 博士(学術)
		生物学A 生物学B 生態学A 生態学B
兼任	准教授	本間 俊行 <平成30年4月> 博士(医学)
		健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	神谷 諭一 <平成30年4月> 博士(数理学)
		数学A 数学B 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼任	准教授	小林 春樹 <平成30年4月> 文学修士
		歴史学A 歴史学B
兼任	准教授	白井 春人 <平成30年4月> 文学修士
		芸術学A 芸術学B
兼任	教授	杉田 明宏 <平成30年4月> 教育学修士
		人権・民主主義・平和を考えるA 人権・民主主義・平和を考えるB
兼任	准教授	高屋 康彦 <平成30年4月> 博士(理学)
		地理学A 地理学B
兼任	准教授	津曲 真一 <平成30年4月> 博士(文学)
		宗教学A 宗教学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼任	准教授	野瀬 元子 <平成30年4月> 博士(国際地域学)
		現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B
兼任	准教授	萩原 基裕 <平成30年4月> 博士(法学)
		法学A 法学B
兼任	准教授	橋本 みのり <平成30年4月> 博士(学術)
		生物学A 生物学B 生態学A 生態学B
兼任	准教授	本間 俊行 <平成30年4月> 博士(医学)
		健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	神谷 諭一 <平成30年4月> 博士(数理学)
		数学A 数学B 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼任	准教授	小林 春樹 <平成30年4月> 文学修士
		歴史学A 歴史学B
兼任	准教授	白井 春人 <平成30年4月> 文学修士
		芸術学A 芸術学B
兼任	教授	杉田 明宏 <平成30年4月> 教育学修士
		人権・民主主義・平和を考えるA 人権・民主主義・平和を考えるB
兼任	准教授	高屋 康彦 <平成30年4月> 博士(理学)
		地理学A 地理学B 日本の自然地理 世界の自然地理
兼任	准教授	津曲 真一 <平成30年4月> 博士(文学)
		宗教学A 宗教学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼任	准教授	萩原 基裕 <平成30年4月> 博士(法学)
		法学A 法学B
兼任	准教授	橋本 みのり <平成30年4月> 博士(学術)
		生物学A 生物学B 生態学A 生態学B
兼任	准教授	本間 俊行 <平成30年4月> 博士(医学)
		健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B スポーツ選手の生理

【届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	准教授	松崎 友世 <平成30年4月> 博士(心理学)	松崎 友世 <平成30年4月> 博士(心理学)	松崎 友世 <平成30年4月> 博士(心理学)	松崎 友世 <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学A 心理学B	心理学A 心理学B	心理学A 心理学B	心理学A 心理学B
兼任	准教授	村井 信幸 <平成30年4月> 文学修士※	村井 信幸 <平成30年4月> 文学修士※	村井 信幸 <平成30年4月> 文学修士※	村井 信幸 <平成30年4月> 文学修士※
		歴史学A 歴史学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB	歴史学A 歴史学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB	歴史学A 歴史学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 東洋史概論	歴史学A 歴史学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 東洋史概論
兼任	准教授	吉永 良正 <平成30年4月> 理学士、文学士	吉永 良正 <平成30年4月> 理学士、文学士	吉永 良正 <平成30年4月> 理学士、文学士	吉永 良正 <平成30年4月> 理学士、文学士
		論理学A 論理学B	論理学A 論理学B	論理学A 論理学B 哲学概論A 哲学概論B	論理学A 論理学B 哲学概論A 哲学概論B
兼任	講師	浅沼(川野) 薫奈 <平成30年4月> 修士(国際学)	浅沼(川野) 薫奈 <平成30年4月> 修士(国際学)	浅沼(川野) 薫奈 <平成30年4月> 修士(国際学)	浅沼(川野) 薫奈 <平成30年4月> 修士(国際学)
		自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB	自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB	自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB	自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
				兼任 講師	岡田 拓也 <令和元年4月> 博士(法学)
					政治学A 政治学B
			兼任 講師		小野寺 賢一 <平成30年4月> 修士(文学)
					ドイツ語初級1A ドイツ語初級1B
兼任	講師	木村 竜太 <平成30年4月> 博士(文化史学)	木村 竜太 <平成30年4月> 博士(文化史学)	木村 竜太 <平成30年4月> 博士(文化史学)	木村 竜太 <平成30年4月> 博士(文化史学)
		異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB	文学A 文学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB	文学A 文学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 西洋史概論	文学A 文学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 西洋史概論
兼任	講師	佐藤 真太郎 <平成30年4月> 修士(体育学)	佐藤 真太郎 <平成30年4月> 修士(体育学)	佐藤 真太郎 <平成30年4月> 修士(体育学)	佐藤 真太郎 <平成30年4月> 修士(体育学)
		総合体育A 総合体育B	総合体育A 総合体育B	総合体育A 総合体育B スポーツの指導	総合体育A 総合体育B スポーツの指導
				兼任 講師	鳥井 誠司 <令和元年4月> 法学士
					全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B
兼任	講師	高田 未里 <平成30年4月> 博士(文学)	高田 未里 <平成30年4月> 博士(文学)	高田 未里 <平成30年4月> 博士(文学)	高田 未里 <平成30年4月> 博士(文学)
		心理学A 心理学B 心理学概論A 心理学概論B 産業心理学A 産業心理学B	心理学A 心理学B 心理学概論A 心理学概論B 産業心理学A 産業心理学B	産業心理学A 産業心理学B 社会病理	産業心理学A 産業心理学B 社会病理
				兼任 講師	田崎 郁子 <令和元年4月> 博士(地域研究)
					文化人類学A 文化人類学B



【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	福井(小川) 庸子 <平成30年4月> 博士(教育学) キャリアデザインA キャリアデザインB	兼任	講師	福井(小川) 庸子 <平成30年4月> 博士(教育学) キャリアデザインA キャリアデザインB			
兼任	講師	藤井 誠一郎 <平成30年4月> 博士(政策科学) 政治学A 政治学B	兼任	准教授	藤井 誠一郎 <平成30年4月> 博士(政策科学) 政治学A 政治学B			
兼任	講師	青木 敬子 <平成30年4月> 修士(英文学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会	兼任	講師	青木 敬子 <平成30年4月> 修士(英文学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会	兼任	講師	青木 敬子 <平成30年4月> 修士(英文学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会
						兼任	講師	青葉 幸洋 <令和元年4月> 修士(スポーツ健康科学) 体育実技A 体育実技B
兼任	講師	粟津 賢太 <令和2年4月> 博士(社会学) 宗教社会学	兼任	講師	粟津 賢太 <令和2年4月> 博士(社会学) 宗教社会学	兼任	講師	粟津 賢太 <令和2年4月> 博士(社会学) 宗教社会学
						兼任	講師	石井 寿子 <令和元年4月> 文学修士 ドイツ語初級1A ドイツ語初級1B
兼任	講師	井島 由佳 <平成30年4月> 博士(学術) キャリア支援特殊講義Ⅲ キャリア支援特殊講義Ⅳ インターンシップ	兼任	講師	井島 由佳 <平成30年4月> 博士(学術) キャリア支援特殊講義Ⅲ キャリア支援特殊講義Ⅳ インターンシップ			
兼任	講師	出野 由紀子 <平成30年4月> 修士(教育学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	出野 由紀子 <平成30年4月> 修士(教育学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	出野 由紀子 <平成30年4月> 修士(教育学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	井上 紗央里 <平成30年4月> 修士(英文学)※ 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	井上 紗央里 <平成30年4月> 修士(英文学)※ 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	井上 紗央里 <平成30年4月> 修士(英文学)※ 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	井上 道哉 <令和元年4月> 修士(工学)※ 情報ネットワーク	兼任	講師	井上 道哉 <令和元年4月> 修士(工学)※ 情報ネットワーク	兼任	講師	井上 道哉 <令和元年4月> 修士(工学)※ 情報ネットワーク

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
							兼任 講師	植田 俊太郎 <令和元年4月> 修士(法学) 法学A 法学B
			兼任 講師		内田 知行 <平成30年4月> 社会学修士※ 日本の政治・経済・社会A 日本の政治・経済・社会B			
兼任	講師	遠藤 知佐 <平成30年4月> 博士(日本語教育学) 日本語文章表現A 日本語文章表現B						
兼任	講師	大澤 美和 <平成30年4月> 修士(経営学) 修士(商学)※ ミクロ経済学A ミクロ経済学B	兼任	講師	大澤 美和 <平成30年4月> 修士(経営学) 修士(商学)※ ミクロ経済学A ミクロ経済学B	兼任	講師	大澤 美和 <平成30年4月> 修士(経営学) 修士(商学)※ ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	講師	大島 岳 <令和元年4月> 修士(教育学) 修士(社会学) 社会調査法	兼任	講師	大島 岳 <令和元年4月> 修士(教育学) 修士(社会学) 社会調査法	兼任	講師	大島 岳 <令和元年4月> 修士(教育学) 修士(社会学) 社会調査法
兼任	講師	小幡 真希 <令和元年4月> 修士(人間科学) 心理統計学 情報処理実習	兼任	講師	小幡 真希 <令和元年4月> 修士(人間科学) 心理統計学 情報処理実習	兼任	講師	小幡 真希 <令和元年4月> 修士(人間科学) 心理統計学 情報処理実習
兼任	講師	亀井ダイチ利永子 <平成30年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ) 日本の文化・芸術A 日本の文化・芸術B 日本の歴史A 日本の歴史B 現代日本の諸相A 現代日本の諸相B	兼任	講師	亀井ダイチ利永子 <平成30年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ) 日本の文化・芸術A 日本の文化・芸術B 日本の歴史A 日本の歴史B 現代日本の諸相A 現代日本の諸相B	兼任	講師	亀井ダイチ利永子 <平成30年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ) 日本の文化・芸術A 日本の文化・芸術B 日本の歴史A 日本の歴史B 現代日本の諸相A 現代日本の諸相B
兼任	講師	亀澤 孝幸 <平成30年4月> 博士(書道学) 芸術学A 芸術学B	兼任	講師	亀澤 孝幸 <平成30年4月> 博士(書道学) 芸術学A 芸術学B	兼任	講師	亀澤 孝幸 <平成30年4月> 博士(書道学) 芸術学A 芸術学B
兼任	講師	川島 安博 <令和元年4月> 博士(社会学) 情報と統計基礎実習	兼任	講師	川島 安博 <令和元年4月> 博士(社会学) 情報と統計基礎実習	兼任	講師	川島 安博 <令和元年4月> 博士(社会学) 情報と統計基礎実習
兼任	講師	川本 勝 <平成30年4月> 博士(学術) 情報処理基礎I 情報処理基礎II	兼任	講師	川本 勝 <平成30年4月> 博士(学術) 情報処理基礎I 情報処理基礎II	兼任	講師	川本 勝 <平成30年4月> 博士(学術) 情報処理基礎I 情報処理基礎II
兼任	講師	木川 裕 <平成30年4月> 法学修士 経済学修士 情報科学A 情報科学B	兼任	講師	木川 裕 <平成30年4月> 法学修士 経済学修士 情報科学A 情報科学B	兼任	講師	木川 裕 <平成30年4月> 法学修士 経済学修士 情報科学A 情報科学B

【届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師 金 在根 (41) <令和2年4月> 博士(コミュニティ福祉学)	兼任	講師 金 在根 (42) <令和2年4月> 博士(コミュニティ福祉学)	兼任	講師 金 在根 (43) <令和2年4月> 博士(コミュニティ福祉学)
	障がい福祉論		障がい福祉論		障がい福祉論
兼任	講師 黒柳 修一 <平成30年4月> 教育学修士※	兼任	講師 黒柳 修一 <平成30年4月> 教育学修士※	兼任	講師 黒柳 修一 <平成30年4月> 教育学修士※
	教育学A 教育学B		教育学A 教育学B		教育学A 教育学B
兼任	講師 幸田 佳子 <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師 幸田 佳子 <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師 幸田 佳子 <平成30年4月> 文学修士
	理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B		理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B		理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B
兼任	講師 児島(鈴木) 由理 <平成30年4月> 修士(学術)※				
	ドイツ語初級2A ドイツ語初級2B				
兼任	講師 五味 由典 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	講師 五味 由典 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	講師 五味 由典 <令和2年4月> 修士(法学)※
	知的財産法		知的財産法		知的財産法
		兼任	講師 斎野 岳彦 <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師 斎野 岳彦 <平成30年4月> 理学修士
			地理学A 地理学B		地理学A 地理学B
				兼任	講師 酒井 針史 <令和元年4月> 修士(社会学)
					社会学A 社会学B
兼任	講師 佐久間 千尋 <平成30年4月> 博士(人間文化科学)	兼任	講師 佐久間 千尋 <平成30年4月> 博士(人間文化科学)		
	時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会		時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会		
兼任	講師 佐藤 亮輔 <令和元年4月> 修士(スポーツ健康科学)	兼任	講師 佐藤 亮輔 <令和元年4月> 修士(スポーツ健康科学)		
	体育実技A 体育実技B		体育実技A 体育実技B		
		兼任	講師 佐山 一 <平成30年4月> 文学修士※	兼任	講師 佐山 一 <平成30年4月> 文学修士※
			フランス語初級2A フランス語初級2B		フランス語初級2A フランス語初級2B
兼任	講師 柴田 徹 <平成30年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師 柴田 徹 <平成30年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師 柴田 徹 <平成30年4月> 修士(教育学)※
	情報処理基礎I 情報処理基礎II		情報処理基礎I 情報処理基礎II		情報処理基礎I 情報処理基礎II

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 幸 <平成30年4月> 博士(学術) 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	鈴木 幸 <平成30年4月> 博士(学術) 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	鈴木 幸 <平成30年4月> 博士(学術) 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	高岡 文章 <令和2年4月> 修士(社会学)※ 観光社会学	兼任	講師	高岡 文章 <令和2年4月> 修士(社会学)※ 観光社会学	兼任	講師	高岡 文章 <令和2年4月> 修士(社会学)※ 観光社会学
兼任	講師	高橋 明美 <平成30年4月> 文学博士※ フランス語初級1A フランス語初級1B フランス語初級2A フランス語初級2B	兼任	講師	高橋 明美 <平成30年4月> 文学博士※ フランス語初級1A フランス語初級1B	兼任	講師	高橋 明美 <平成30年4月> 文学博士※ フランス語初級1A フランス語初級1B
兼任	講師	高橋 優子 <令和2年4月> 修士(家政学) 子ども福祉論	兼任	講師	高橋 優子 <令和2年4月> 修士(家政学) 子ども福祉論	兼任	講師	高橋 優子 <令和2年4月> 修士(家政学) 子ども福祉論
			兼任	講師	田中 英司 <平成30年4月> 博士(文学) 考古学A 考古学B	兼任	講師	田中 英司 <平成30年4月> 博士(文学) 考古学A 考古学B
兼任	講師	田村 亮 <平成30年4月> 修士(教育学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	田村 亮 <平成30年4月> 修士(教育学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	田村 亮 <平成30年4月> 修士(教育学)※ 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	鄭 俊坤 <平成30年4月> 政治学博士 コリア語基礎1A コリア語基礎1B コリア語基礎2A コリア語基礎2B	兼任	講師	鄭 俊坤 <平成30年4月> 政治学博士 コリア語基礎1A コリア語基礎1B コリア語基礎2A コリア語基礎2B	兼任	講師	鄭 俊坤 <平成30年4月> 政治学博士 コリア語基礎1A コリア語基礎1B コリア語基礎2A コリア語基礎2B
兼任	講師	塚野 壽一 <平成30年4月> 修士(TESOL) 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	塚野 壽一 <平成30年4月> 修士(TESOL) 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4	兼任	講師	塚野 壽一 <平成30年4月> 修士(TESOL) 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	土肥 義和 <平成30年4月> 修士(工学) 情報処理基礎I 情報処理基礎II	兼任	講師	土肥 義和 <平成30年4月> 修士(工学) 情報処理基礎I 情報処理基礎II	兼任	講師	土肥 義和 <平成30年4月> 修士(工学) 情報処理基礎I 情報処理基礎II
兼任	講師	得能 壽美 <平成30年4月> 文学修士 地域・国家・民族の考察A 地域・国家・民族の考察B 女性・子ども・老人への視点A 女性・子ども・老人への視点B	兼任	講師	得能 壽美 <平成30年4月> 文学修士 地域・国家・民族の考察A 地域・国家・民族の考察B 女性・子ども・老人への視点A 女性・子ども・老人への視点B	兼任	講師	得能 壽美 <平成30年4月> 文学修士 地域・国家・民族の考察A 地域・国家・民族の考察B 女性・子ども・老人への視点A 女性・子ども・老人への視点B

【届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師 外山 英明 <令和元年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	講師 外山 英明 <令和元年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	講師 外山 英明 <令和元年4月> 修士(スポーツ科学)
	体育実技A 体育実技B		体育実技A 体育実技B		体育実技A 体育実技B
兼任	講師 中藤 和重 <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	講師 中藤 和重 <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	講師 中藤 和重 <令和2年4月> 博士(経済学)
	環境政策論 行政学		環境政策論 行政学		環境政策論 行政学
兼任	講師 永房 典之 <令和元年4月> 博士(社会学)	兼任	講師 永房 典之 <令和元年4月> 博士(社会学)	兼任	講師 永房 典之 <令和2年4月> 博士(社会学)
	行動分析学A 行動分析学B 社会心理学A 社会心理学B 教育心理学A 教育心理学B		行動分析学A 行動分析学B 社会心理学A 社会心理学B 教育心理学A 教育心理学B		行動分析学A 行動分析学B 社会心理学A 社会心理学B
兼任	講師 仁井田 典子 <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	講師 仁井田 典子 <平成30年4月> 博士(社会学)	兼任	講師 仁井田 典子 <平成30年4月> 博士(社会学)
	キャリアデザインA キャリアデザインB		キャリアデザインA キャリアデザインB		キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師 西谷内 博美 <令和2年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師 西谷内 博美 <令和2年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師 西谷内 博美 <令和2年4月> 博士(政策科学)
	環境社会学A 環境社会学B		環境社会学A 環境社会学B		環境社会学A 環境社会学B
兼任	講師 野田 恵子 <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師 野田 恵子 <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師 野田 恵子 <令和2年4月> 修士(学術)
	セクシュアリティ		セクシュアリティ		セクシュアリティ
兼任	講師 橋口 宏行 <令和元年4月> 修士(経済学)	兼任	講師 橋口 宏行 <令和元年4月> 修士(経済学)	兼任	講師 橋口 宏行 <令和2年4月> 修士(経済学)
	金融論		金融論		金融論
兼任	講師 橋本 幸枝 <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師 橋本 幸枝 <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師 橋本 幸枝 <平成30年4月> 文学修士
	中国語初級2A 中国語初級2B		中国語初級2A 中国語初級2B		中国語初級2A 中国語初級2B
兼任	講師 浜島 一成 <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師 浜島 一成 <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師 浜島 一成 <平成30年4月> 工学博士
	芸術学A 芸術学B		芸術学A 芸術学B		芸術学A 芸術学B
兼任	講師 桧野 智子 <平成30年4月> 修士(経済学)※	兼任	講師 桧野 智子 <平成30年4月> 修士(経済学)※	兼任	講師 桧野 智子 <平成30年4月> 修士(経済学)※
	マクロ経済学A マクロ経済学B		マクロ経済学A マクロ経済学B		マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	講師 深松 亮太 <平成30年4月> 修士(文化科学)※	兼任	講師 深松 亮太 <平成30年4月> 修士(文化科学)※	兼任	講師 深松 亮太 <平成30年4月> 修士(文化科学)※
	時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション 英語1 実用コミュニケーション 英語1 実用コミュニケーション 英語2 実用コミュニケーション 英語3 実用コミュニケーション 英語4		時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション 英語1 実用コミュニケーション 英語1 実用コミュニケーション 英語2 実用コミュニケーション 英語3 実用コミュニケーション 英語4		時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	福重 清 <令和元年4月> 修士(都市科学) ※ コミュニケーション論	兼任	講師	福重 清 <令和元年4月> 修士(都市科学) ※ コミュニケーション論	兼任	講師	福重 清 <令和元年4月> 修士(都市科学) ※ コミュニケーション論
			兼任	講師	古橋 達弘 <平成30年4月> 修士(アジア地域研究) サブカルチャー論			
						兼任	講師	前川 一貴 <令和元年4月> 博士(文学) ドイツ語初級2A ドイツ語初級2B
兼任	講師	松崎 かおり <平成30年4月> 修士(文学) 民俗学A 民俗学B	兼任	講師	松崎 かおり <平成30年4月> 修士(文学) 民俗学A 民俗学B			
			兼任	講師	松村 健吾 <平成30年4月> 博士(社会学) 哲学A 哲学B			
兼任	講師	丸山 純 <令和元年4月> 文学士 地域研究(中東)	兼任	講師	丸山 純 <令和元年4月> 文学士 地域研究(中東)	兼任	講師	丸山 純 <令和元年4月> 文学士 地域研究(中東)
兼任	講師	宮地 弘子 <令和元年4月> 博士(社会学) 組織社会学	兼任	講師	宮地 弘子 <令和元年4月> 博士(社会学) 組織社会学			
兼任	講師	三輪 睦男 <平成30年4月> 博士(法学) 民法A 民法B	兼任	講師	三輪 睦男 <平成30年4月> 博士(法学) 民法A 民法B	兼任	講師	三輪 睦男 <平成30年4月> 博士(法学) 民法A 民法B
兼任	講師	村瀬(佐藤) 民子 <平成30年4月> 修士(文学)※ ドイツ語初級1A ドイツ語初級1B	兼任	講師	村瀬(佐藤) 民子 <平成30年4月> 修士(文学)※ ドイツ語初級2A ドイツ語初級2B			
兼任	講師	森 良 <平成30年4月> 高等学校卒 NPO/NGOの社会学	兼任	講師	森 良 <平成30年4月> 高等学校卒 NPO/NGOの社会学	兼任	講師	森 良 <令和2年4月> 高等学校卒 NPO/NGOの社会学
兼任	講師	八木原 大 <令和元年4月> 博士(経済学) 福祉医療政策 公共政策論	兼任	講師	八木原 大 <令和元年4月> 博士(経済学) 福祉医療政策 公共政策論			
						兼任	講師	河村 裕樹 <令和元年4月> 修士(社会学) 組織社会学

【届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								木村 美里 <令和元年4月> 博士(学術)
								時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会
			兼任	講師	佐藤 弥恵 <平成30年4月> Docteur en Droit (フランス)			
					国際関係論			
								富田 祐一 <令和元年4月> 教育学修士
								実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
								沼田 真一 <令和元年4月> 博士(社会科学)
								都市社会学 都市・地域政策論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・北澤恒人教授の担当科目「哲学A」及び「哲学B」は、同教授の平成30年度担当科目一部変更の理由により、平成31年度以降開講予定とし、同科目の担当教員として松村健吾兼任講師を追加。  
・高井(小林)宏子教授の担当科目「文学A」及び「文学B」は、同教授の平成30年度担当科目の一部変更の理由により、平成31年度以降開講予定とする。  
・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「異文化・世界にふれるB」、「異文化・世界にふれるB」、「自己・人間をみつめるA」及び「自己・人間をみつめるB」を津曲真一兼担教授に変更。「マルチメディア論」、「地域研究(北米)」及び「社会学特殊講義Ⅱ」の後任担当教員は、平成31年度採用予定(講師以上で公募)。「芸術学A」及び「芸術学B」は、他に3名の担当教員がいるため後任補充は行わない。  
・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「サブカルチャー論」を古橋達弘兼任講師に変更。  
・土居良一准教授が、平成30年4月1日付で環境創造学部からの移籍による就任。なお、平成30年度は環境創造学部開設科目を担当し、社会学部開設科目は平成31年度より担当予定。  
・高尾謙史兼担教授の担当科目変更の理由により、「文学A」及び「文学B」を木村竜太兼担講師に変更。  
・田中達也兼担教授の担当科目一部変更の理由により、「地理学A」及び「地理学B」を齋野岳郎兼任講師に変更。  
・内藤二郎兼担教授の担当科目変更の理由により、「現代社会の諸問題A」及び「現代社会の諸問題B」を野瀬元子兼担教授に変更。  
・新里孝一兼担教授の担当科目一部変更の理由により、「日本の政治・経済・社会A」及び「日本の政治・経済・社会B」を内田知行兼任講師に変更。  
・宮瀧文二兼担教授の担当科目変更の理由により、「考古学A」及び「考古学B」を田中英司兼任講師に変更。  
・武藤慎一兼担教授の担当科目変更の理由により、「宗教学A」及び「宗教学B」を津曲真一兼担教授に変更。  
・工藤保子兼担教授の担当科目変更の理由により、「体育実技A」及び「体育実技B」を勝俣康之兼担教授に変更。  
・杉田明宏兼担教授の身分昇格の理由により、職名を「教授」に変更。  
・松崎友世兼担教授の身分昇格の理由により、職名を「教授」に変更。  
・高田未里兼担講師の身分昇格の理由により、職名を「准教授」に変更。  
・藤井誠一郎兼担講師の身分昇格の理由により、職名を「准教授」に変更。  
・遠藤知佐兼任講師就任辞退の理由により、担当教員表より削除。同講師が担当予定科目であった「日本語文章表現A」及び「日本語文章表現B」は、他に2名の担当教員がいるため後任補充は行わない。  
・児島(鈴木)由理兼任講師の担当科目変更の理由により、「ドイツ語初級2A」及び「ドイツ語初級2B」を村瀬(佐藤)民子兼任講師に変更。  
・高橋明美兼任講師の担当科目一部変更の理由により、「フランス語初級2A」及び「フランス語初級2B」を佐山一兼任講師に変更。  
・村瀬(佐藤)民子兼任講師の担当科目一部変更の理由により、「ドイツ語初級1A」及び「ドイツ語初級1B」を小野寺賢一兼担講師に変更。

【令和元年度】

・齋藤博准教授就任の理由により、「フレッシュマンセミナーA」及び「フレッシュマンセミナーB」を馬場靖雄教授に変更。  
・馬場靖雄教授の担当科目変更の理由により、「卒業研究」の開講コマ数を削減して対応。  
・高井(小林)宏子教授の担当科目変更の理由により、「文学A」及び「文学B」を担当授業科目より削除。同科目は他に2名の担当教員がいるため後任補充は行わない。  
・高井(小林)宏子教授の担当科目変更の理由及び千葉一幹兼担教授の担当科目変更の理由により、「異文化・世界にふれるA」及び「異文化・世界にふれるB」を土居良一准教授に変更。  
・中野紀和教授の担当科目変更の理由により、「文化人類学A」及び「文化人類学B」を田崎郁子兼担講師に変更。  
・齋藤博准教授就任の理由により、「社会学演習I」、「社会学演習II」及び「卒業研究」を八木原大講師に変更。  
・齋藤博准教授就任の理由により、「社会調査実習」の後任担当教員は令和2年度採用予定で公募を検討中。  
・齋藤博准教授就任の理由により、「都市社会学」及び「都市・地域政策論」を沼田真一兼任講師に変更。  
・野瀬元子兼担教授の担当科目変更の理由により、「現代社会の諸問題A」及び「現代社会の諸問題B」を土居良一准教授に変更。  
・近藤和都講師就任の理由により、「フレッシュマンセミナーA」、「フレッシュマンセミナーB」、「マルチメディア論」、「社会学特殊講義Ⅱ」、「芸術学A」及び「芸術学B」を追加。  
・近藤和都講師就任の理由により、「サブカルチャー論」を古橋達弘兼任講師から変更。  
・八木原大講師就任の理由により、八木原大兼任講師を担当教員表より削除。「フレッシュマンセミナーA」、「フレッシュマンセミナーB」、「福祉医療政策」、「公共政策論」及び「インターシップ」を変更。  
・井島由佳助教就任の理由により、「心理学概論A」及び「心理学概論B」を高田未里兼担教授から変更。「教育心理学A」及び「教育心理学B」を永房典之兼任講師から変更。井島由佳兼任講師を担当教員表より削除。「キャリア支援特殊講義Ⅲ」及び「キャリア支援特殊講義Ⅳ」を変更。  
・永房典之兼任講師の担当科目変更の理由により、就任(予定)年月を令和元年4月から令和2年4月に変更。  
・発展科目追加の理由により、岩橋俊兼担教授担当科目「情報処理」、河野良兼担教授担当科目「日本国憲法」及び「法学概論」、浜田久美子兼担教授担当科目「日本史概論A」及び「日本史概論B」を追加。  
・臼井一兼担教授の体調不良の理由により、就任(予定)年月を平成30年4月から令和元年4月に変更。平成30年度「国際関係論」を佐藤弥志兼任講師に変更。  
・加瀬幸喜兼担教授の担当科目変更の理由により、「法学A」及び「法学B」を植田俊太郎兼任講師に変更。  
・大上忠幸兼担教授退職の理由により、「フィールドワークA」及び「フィールドワークB」を大河原尚兼担教授に変更。  
・大河原尚兼担教授の担当科目変更の理由により、「日本語文章表現A」及び「日本語文章表現B」を上村圭介兼担教授に変更。  
・上村圭介兼担教授の担当科目変更の理由により、「資料・文献読解A」及び「資料・文献読解B」を田中寛兼担教授に変更。  
・副専攻科目設置の理由により、岡本信広兼担教授担当科目「Basic Skills」、「Reading and Writing I」及び「Communication and Discussion I」を追加。  
・発展科目追加の理由により、田中達也兼担教授担当科目に「日本の人文地理」、「世界の人文地理」、「日本地誌概論」及び「世界地誌概論」、山根雄一郎兼担教授担当科目に「倫理学概論A」及び「倫理学概論B」、高屋康彦兼担教授担当科目に「日本の自然地理」及び「世界の自然地理」、村井信幸兼担教授の担当科目に「東洋史概論」、吉永良正兼担教授担当科目に「哲学概論A」及び「哲学概論B」、木村竜太兼担講師担当科目に「西洋史概論」、高田未里兼担教授担当科目に「社会病理」を追加。  
・田中博史兼担教授学位取得の理由により、保有学位を「博士(医学)」に変更。  
・佐藤真太郎兼担講師の身分昇格の理由により、職名を「准教授」に変更。  
・副専攻科目追加の理由により、田中博史兼担教授担当科目に「スポーツ選手の心理」、勝俣康之兼担教授担当科目に「スポーツ科学入門」、「トレーニング理論と実践」、「競技スポーツ演習I」、「競技スポーツ演習II」、「競技スポーツ演習III」及び「競技スポーツ演習IV」、本間俊行兼担教授担当科目に「スポーツ選手の生理」、佐藤真太郎兼担教授担当科目に「スポーツの指導」を追加。  
・大上忠幸兼担教授退職の理由により、「理解とコミュニケーションA」、「理解とコミュニケーションB」を田中寛兼担教授に変更。  
・中井睦美兼担教授の担当科目変更の理由により、「全学共通特殊講義A」及び「全学共通特殊講義B」を島井誠司兼任講師に変更。  
・内田知行兼任講師定年退職の理由により、「日本の政治・経済・社会A」を新里孝一兼担教授に、「日本の政治・経済・社会B」を岡本信広兼担教授に変更。  
・新里孝一兼担教授の担当科目変更の理由により、就任(予定)年月を平成30年4月から令和元年4月に変更。  
・副専攻科目追加の理由により、福島齊兼担教授担当科目「スポーツ選手の医学」及び工藤保子兼担教授担当科目「スポーツマネジメント論」を追加。  
・福井(小川)庸子兼担講師の担当科目変更の理由により、「キャリアデザインA」及び「キャリアデザインB」を細田映江兼担教授に変更。  
・松崎かおり兼任講師就任辞退の理由により、「民俗学A」及び「民俗学B」を厚苗苗兼担教授に変更。  
・白井康之兼担教授の就任(予定)年月を担当科目の配当年次に合わせて令和3年4月から令和2年4月に変更。  
・本間俊行兼担教授の担当科目変更の理由により、「健康スポーツ科学A」及び「健康スポーツ科学B」を勝俣康之兼担教授に変更。  
・藤井誠一郎兼担教授の長期海外研究員による令和元年度休講の理由により、「政治学A」及び「政治学B」を岡田拓也兼任講師に変更。  
・小野寺賢一兼担講師の長期海外研究員による令和元年度休講の理由により、「ドイツ語初級1A」及び「ドイツ語初級1B」を石井寿子兼任講師に変更。  
・高田未里兼担教授の担当科目変更の理由により、「心理学A」及び「心理学B」を担当授業科目より削除。同科目は他に2名の担当教員がいるため後任補充は行わない。  
・佐藤亮輔兼任講師就任辞退の理由により、「体育実技A」及び「体育実技B」を青葉幸洋兼任講師に変更。  
・酒井計史兼任講師の担当科目変更の理由により、「社会学A」及び「社会学B」を追加。  
・佐久間千尋兼任講師就任の理由により、「時事英語1」、「時事英語2」、「時事英語3」及び「英語で読む現代社会」を木村美里兼任講師に変更。  
・橋口宏行兼任講師の就任(予定)年月を担当科目の配当年次に合わせて令和元年4月から令和2年4月に修正。  
・深松亮太兼任講師の担当科目変更の理由により、「実用コミュニケーション英語1」、「実用コミュニケーション英語2」、「実用コミュニケーション英語3」及び「実用コミュニケーション英語4」を富田祐一兼任講師に変更。  
・村瀬(佐藤)民子兼任講師退職の理由により、「ドイツ語初級2A」及び「ドイツ語初級2B」を前川一貴兼任講師に変更。  
・松村健吾兼任講師定年退職の理由により、担当教員表より削除。同兼任講師の担当科目「哲学A」及び「哲学B」は他に2名の担当教員がいるため後任補充は行わない。  
・宮地弘子兼任講師就任辞退の理由により、「組織社会学」を河村裕樹兼任講師に変更。  
・森良兼任講師の就任(予定)年月を担当科目の配当年次に合わせて平成30年4月から令和2年4月に修正。

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。  
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	5	5	0	20	9	5	7	1	22
(9)	(5)	(5)	(0)	(19)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
9	5	7	1	22	9	5	7	1	22
[△1]	[0]	[2]	[1]	[2]	[△1]	[0]	[2]	[1]	[2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
70(※1) 65(※2)	0	0
歳	名	名

(※1) …平成23年3月31日までに採用された教員  
 (※2) …平成23年4月1日以降に採用された教員

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{20} = \boxed{110} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	中垣 恒太郎	H30.3	必修	フレッシュマンセミナーA	①	一身上の都合により就任辞退（30）						
				必修	フレッシュマンセミナーB	①							
				選択	サブカルチャー論	②							
				選択	マルチメディア論論	③							
				選択	地域研究（北米）	③							
				選択	社会学特講義Ⅱ （テレビ文化の社会学）	③							
				選択	芸術学A	②							
				選択	芸術学B	②							
				選択	異文化・世界にふれるA	②							
				選択	異文化・世界にふれるB	②							
				選択	自己・人間を見つめるA	②							
選択	自己・人間を見つめるA	②											
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	0	科目	選択	7	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	2	科目	計	7	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	齋藤 博	H31.3	必修	フレッシュマンセミナーA	①	一身上の都合により辞任（元）						
				必修	フレッシュマンセミナーB	①							
				必修	社会学演習Ⅰ	①							
				必修	社会学演習Ⅱ	①							
				必修	卒業研究	①							
				選択	社会調査実習	③							
				選択	都市社会学	②							
選択	都市・地域政策論	②											
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	5	科目	計	2	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	9 科目	選択	4 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	20 科目	計	7 科目	計	9 科目	計	4 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{20} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

齋藤博准教授の辞任により、現在後任の専任教員公募を検討しているが、同教員が担当予定であった「フレッシュマンセミナーA・B」(1年次配当)「社会学演習I」「都市社会学」「都市・地域政策論」(2年次配当)については、令和元年度は他の専任教員及び兼任講師が担当開講し、また受講希望者を事前に集め、齋藤博准教授より直接説明を行い、学生への影響が生じないよう対応している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <社会学部 社会学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①学部・学科等の特色 教員の研究室の近くに学生が自由に使えるPCや図書資料を備えたワーキングルーム（空き時間は学生が自由に使える学生用研究スペース）を複数設置する。</p> <p>学生および教員の研究活動をサポートするため、社会学研究所（仮称）の設置を予定している。</p>	<p>①学部・学科等の特色 板橋校舎3号館5階にワークスペースⅠ、ワークスペースⅡ、PCラウンジ及び社会調査室の整備を開始。令和2年4月供用開始とする予定。</p> <p>令和元年4月社会学研究所を設置。板橋校舎3号館5階に社会学研究所・資料室を整備、アルバイト職員1名を配置し、主に教員の研究活動をサポートする役割を担う。</p> <p>②「2(2) 授業科目の概要」備考欄について（補足説明） 平成30年4月スポーツ科学系副専攻を全学的に設置し、令和元年4月より社会学部生も履修できるよう学則改正を行った。また、令和元年4月留学（英語）副専攻を設置、全学共通科目に発展科目を追加した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

本学園では「大東文化大学FD・SD基本方針」（添付資料①）を定め、FD、SD活動に関する大学としての指針について明確化した。この方針に基づき、コンプライアンス研修や事務職員人事研修を継続するとともに、教育研究活動等の運営に関する研修や、外部研修を含めた実効性のある育成型研修も含め、実施している。

全学のFD活動については、教育内容及び技法の質の向上・改善を図るための全学的な組織として、「大東文化大学全学FD委員会」（以下、「全学FD委員会」とする。）を設置している。また、各学部内にもFD委員会の設置またはFD担当教員が配置されており、各学部等の内容に即した独自のFD活動を行うとともに、各学部のFD委員会委員（またはFD担当委員）が全学FD委員会委員の構成員となることによって、全学のFD活動と学部等のFD活動が関連性をもって活動できる体制をとっている。

社会学部においては「自己点検・評価／FD委員会」を設置している。

全学のSD活動については、学園全体の教員および事務職員を対象としたコンプライアンスに関する研修（個人情報保護、ハラスメント、研究倫理等）や、事務職員を対象とした人事研修等を行っている。

##### a 委員会の設置状況

○大東文化大学全学FD委員会規程（添付資料②） ※全学FD活動に関するもの

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

##### ・大東文化大学全学FD委員会

（委員構成） 学長が副学長の中から指名した者 1名、各学部が選出する者 各 1名、  
各研究科が選出する者 各 1名、学長が指名する者 若干名

【平成30年度】…平成30年4月27日（第1回）、平成30年5月31日（第2回）、平成30年9月26日（第3回）、  
平成30年12月7日（第4回）、平成31年1月29日（第5回）、平成31年2月15日（第6回）

##### ・社会学部…自己点検・評価／FD委員会

（委員構成） 学部執行部（学部長、学科主任、東松山担当主任）

【平成30年度】…平成30年7月5日（第1回）、平成30年7月26日（第2回）、平成30年9月13日（第3回）

c 委員会の審議事項等

- (1) 本学の教育システムに対するファカルティ・ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動
- (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催
- (4) 「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表
- (5) 授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援

② 実施状況

a 実施内容

(大学全体)

- ・ 「学生による授業評価アンケート」 (報告書の作成等を含む)
- ・ 「卒業時アンケート」 (報告書の作成等を含む)
- ・ 「大学院修了時アンケート」 (報告書の作成等を含む)
- ・ F D研究会 (平成30年11月5日開催)
- ・ 研究倫理コンプライアンス研修会 (平成30年9月10日開催)

(社会学部)

- ・ 授業における学生必携PC活用の現状と展望について
- ・ 学部独自の入学前教育に関する報告と活用法、今後の実施法について

b 実施方法

(大学全体)

- ・ 「学生による授業評価アンケート」…原則として全ての学部開講科目を対象にWebアンケートを実施。
- ・ 「卒業時アンケート」、「大学院修了時アンケート」…卒業生及び修了生全員を対象に実施。
- ・ F D研究会…本学板橋校舎と東松山校舎を遠隔会議システムを利用して中継開催。
- ・ 研究倫理コンプライアンス研修会…講師による質疑応答を含めた講演形式 (90分)。

(社会学部)

- ・ 委員会委員の担当する授業科目実施に影響のない日時を調整し、開催日を設定している。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

(大学全体)

- ・ 「学生による授業評価アンケート」…平成30年7月4日～23日において、専任・非常勤教員計 917 名が参加。
- ・ 「卒業時アンケート」、「大学院修了時アンケート」…平成30年12月1日～平成31年3月30日において実施。
- ・ F D研究会…「シラバス作成方法に係る F D研修会」をテーマに、教員及び事務職員が参加。
- ・ 研究倫理コンプライアンス研修会…本学「研究活動の不正行為に関する規程」に定める研究倫理教育責任者等

(社会学部)

所要欠席者を除く教授会構成員全員が参加。

- ・ 授業における学生必携PC活用の現状と展望について (全2回)

本学部講師の授業実施経験報告を踏まえて、社会学部学生全員に所持させているノートPCが授業において実際にどのように活用されているかを検証し、参加者からの実施報告にも基づいて、授業におけるPC活用についての今後の方針を共有し、さらなる活用法を検討した。

- ・ 学部独自の入学前教育に関する報告と活用法、今後の実施法について

本学部の入学前教育を委託した(株)ナガセによる実施結果報告とその分析を元にして、各種推薦入試による入学者の学力の現状と初年次教育において留意すべき諸点、今後の入学前教育の在り方について議論した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大東文化大学全学 F D委員会において、下記の通り、授業改善のための取り組みを行った。

- ・ F D研究会については、平成30年度は「大東文化大学全学教務委員会」(本学の教育の円滑な推進及び質の向上を図るため、教務に関する全学的な事項について企画・立案・調整を行うことを目的とする組織)との共催形式とし、各部署の F D意識と知識の向上に努めた。
- ・ 平成29年度より実施している「学生による授業評価アンケート」は、平成29年度よりWebアンケート方式を採用している。平成29年度では各教員担当科目のうち1～2科目をアンケート対象として実施したが、平成30年度では実施対象科目を拡大し、原則として全ての開講科目を対象にアンケートを実施した。  
(対象外とした科目は受講者10名未満、複数の担当教員によるオムニバス科目および演習科目(1年次基礎演習科目以外)など)。

アンケート実施結果に対し、担当教員から回答した学生へ、Webアンケートシステム利用によるフィードバックを行った。また、全学FD委員会において、本アンケートの集計結果と報告書を作成し、公表する予定である。  
・「卒業時アンケート」及び「大学院修了時アンケート」の結果についても、「学生による授業評価アンケート」と同様に報告書作成し、学内公開する予定である。また、「卒業時アンケート」にて寄せられた意見等は、該当部署へその内容を照会し、対応策について提出を求めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成30年度実施状況は、上記②において記載済み。令和元年度は、後期授業開講時において大学全体のアンケートを実施する予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全学FD委員会の責任において、本学ホームページへの掲載等を含め、必要に応じて行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和元年度に准教授1名の辞任があったが、ほぼ予定通りに設置の趣旨・目的に従った体制・設備で運営できている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

毎年度の自己点検・評価活動として、「評価専門委員会報告書」「外部評価委員会報告書」及び「自己点検・評価シート」を年度末(3月頃)に作成し、公表している。

b 公表方法

・大学ホームページ上にて公開。(平成30年度分については、令和元年5月末に公開予定。)

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に評価機関(公営財団法人大学基準協会)による認証評価を受審し、同協会が定める大学基準に適合しているとの評価を受けた。次回は、2021(令和3)年度に認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

a ホームページへの公表予定の有無 ( ○有 ・ 無 )

b 公表有の場合の公表(予定)時期 ( 令和元年 5月末日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

7. その他全般的事項  
(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

【添付資料①】

（平成 28 年 12 月 19 日制定）

## 大東文化大学FD・SD基本方針

### 【基本方針】

大学運営が高度化・複雑化していくなか、教育研究活動の質の向上及び教学支援、学生支援、管理運営等の諸課題に対応し大学改革を推進していくためには、教職員の能力開発と資質の向上が欠かせない。

本学は、「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」という大学の理念に沿って教育研究上の目的を達成し、社会の要請に応える大学づくりと大学運営上の諸課題に対応できる教職員を養成するため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）及びSD（スタッフ・ディベロップメント）の活動を積極的に推進する。FDとSDは、企画立案を担うそれぞれの運営主体の方針に基づき、計画性と継続性のある活動として、教職員全体の組織的な機能充実に向け相互補完的に連携をはかりつつ取り組むものとする。

1. 大学は、授業内容及び方法の改善を図り優れた教育システムの提言と構築を実現するため、「学生による授業評価」と授業改善をはじめとする組織的なFD活動を推進する。
2. 各学部・研究科は、各々の教育の特徴を活かした授業改善及び教育の質向上を目指し、FD活動を推進する。
3. 大学は、教学支援、学生支援、管理運営等の各分野において、大学及び高等教育政策に関する知識と理解のもと企画立案から課題解決に至るまで、自らの力で改革を推進することができる教育職員および事務職員を育成するため、SD活動を推進する。
4. 本学の教職員は、教職協働の考え方にに基づき、FD活動とSD活動に積極的に参画する。
5. 教育職員は、大学及び各学部・研究科が実施するFD活動に積極的に参画し、自己の能力開発及び教育研究の質向上に努める。また、大学ガバナンス、コンプライアンス、管理運営の観点から、大学が実施するSD活動に積極的に参加する。
6. 事務職員は、大学が実施するSD活動に積極的に参画し、高等教育政策に関する幅広い知識の習得と自己のキャリアに応じた専門性の高度化に努める。
7. 大学のFD活動は、大東文化大学FD委員会が推進する。
8. 各学部・研究科のFD活動は、大学が推進するFD活動との連携をはかりつつ、それぞれの学部研究科において推進する。
9. 事務職員を主な対象としたSD活動は、総務部人事課及び人事委員会が推進する。
10. 教育職員を主な対象としたSD活動は、学長が推進する。
11. SD活動の内コンプライアンスに関する取り組みは、コンプライアンス推進会議が推進する。



【添付資料②】

○大東文化大学全学FD委員会規程 (平成18年5月15日制定)

---

改正 平成21年6月15日  
平成27年3月18日

平成22年2月22日  
平成31年2月25日

(目的)

第1条 この規程は、大東文化学園内部質保証推進委員会及び学部・大学院と連携をとりつつ、大東文化大学における教育内容及び技法の質の向上を目指すことを目的とする。この目的達成のため、全学FD委員会 (以下「委員会」という。) を設置する。

(任務)

第2条 FD委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議検討し、実施することを任務とする。

- (1) 本学の教育システムに対するファカルティ・ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動
- (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催
- (4) 「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表
- (5) 授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援
- (6) その他、FD委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 FD委員会は、次の委員をもつて構成する。

- (1) 学長又は学長が副学長の中から指名した者1名
  - (2) 各学部が選出する者 各1名
  - (3) 各研究科が選出する者 各1名
  - (4) 学長が指名する者 若干名
- 2 FD委員会の委員長は、前項第1号に定める者とする。
- 3 FD委員会に副委員長を1名ないし2名置く。副委員長は委員会の同意を得て委員長が指名する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があつた場合は、委員長の職務を代行する。
- 5 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 委員が欠けたときの後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 7 FD委員会は必要に応じて委員以外の者に同委員会への出席及び発言を求めることができる。

(運営)

第4条 委員長はFD委員会を招集し、その議長となる。

- 2 FD委員会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 3 FD委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(専門部会)

第5条 FD委員会は、第2条の任務を遂行するにあたり、必要に応じて専門部会を設けることができる。

- 2 専門部会には、委員以外の協力委員を置くことができる。

(事務局)

第6条 FD委員会に関する事務は、学務部学務課が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、学長がこれを行う。

附 則

この規程は、平成18年5月15日から施行する。

附 則（平成21年6月15日）

本規程は、平成21年6月15日から施行する。

附 則（平成22年2月22日）

1 この改正規程は、平成22年4月1日から施行する。

2 この改正規程の施行に伴い、大東文化大学学生による授業評価実施委員会規程は、平成22年3月31日をもって廃止する。

附 則（平成27年3月18日）

この規程は、平成27年4月1日より施行する。

附 則（平成31年2月25日）

（施行期日）

1. この規程は、平成31年4月1日より施行する。

（規程の改正及び名称の変更）

2. 平成18年5月15日制定及び施行の「大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」を改正し、名称を「大東文化大学全学FD委員会規程」に変更する。